

3.4 備前市における実証調査

3.4.1 実施準備

1) 地域会議の実施

以下の通り全4回開催した。以降に各回の議事内容を掲載する。

表 地域会議の実施状況

	日時・ 場所	議事内容
第1回	2018/9/26 15:00-16:45 備前市役所	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行ルート・サービス内容等 ・ 関係機関との調整状況 ・ 利用対象者への周知・広報計画 ・ 実証期間 ・ 効果検証の方法 ・ イベント等での実施内容 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両充電や運転手等の計画 ・ 現場検証（リスク確認） ・ 周知広報の実施内容 ・ 関係機関との調整（運輸支局、備前市公共交通会議、県道管理者、通学路） ・ アンケートの調査票及び調査方法 ・ 車両保管場所、充電電源の確認
第2回	2018/10/12 10:00-12:00 備前市役所 〔現場確認〕 2018/10/12 14:00-16:30 備前市鶴海地区 備前市総合運動公園	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証期間の確認 ・ 実証運行のルート・サービス内容等 ・ 利用対象者への周知・広報計画 ・ イベント等での実施内容 ・ 関係機関との調整状況 ・ 効果検証方法 ・ 必要インフラの確認 ・ 緊急連絡体制の確認 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド予約方法の調整 ・ 運行計画、運行スケジュールの調整 ・ 車両の搬入搬出計画 ・ 運行日誌、アンケート等の調査方法

	日時・ 場所	議事内容
第3回	2018/10/26 11:00-12:00 13:00-16:00 NPO法人スマ イル・つるみ 事務所	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・実証調査の準備状況 ・効果検証方法 ・イベント等での実施内容 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・出発式の予定 ・初日のマスコミ対応 ・国交省視察（11/8）の詳細
第4回	2018/12/3 10:00 NPO法人スマ イル・つるみ 事務所	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・実証調査結果の共有（利用者数、アンケート結果） ・地域課題解決に対する有効性 ・実証調査で確認された課題 ・事業化に向けた展望と課題 ・次年度以降の予定

2) 実施計画書の作成

作成した実施計画書を次頁以降に掲載する。

平成30年度
グリーンスローモビリティの活用検討に向けた
実証調査支援事業
実施計画書

実証地域	岡山県備前市鶴海
事業名称	鶴海お出かけよい乗りカート運行事業

【1. 実証調査の背景・目的】

【2. 実証調査の概要】

【3. 実証調査の詳細】

3.1 運用エリア、3.2 運用方法、3.3 実施体制、3.4 関係機関との調整状況、3.5 事業化に向けた検討、3.6 その他

※「3.6 その他」については任意記載項目とする

【1 実証調査の背景・目的】

地域の概況(特に地域交通の状況)

- ・実証調査を行う備前市鶴海地区の人口は938人、世帯数は371世帯(2015年国勢調査)で、古くから米や果樹(ぶどう)の栽培が盛んな地域である。
- ・鶴海地区の高齢化率は45.5%で、備前市の高齢化率36.3%を大幅に上回っている。(2015年国勢調査から算定)
- ・鶴海地区で食料品等を扱う商店は1軒のみで、高齢者の見守りを兼ねた移動スーパーが週1回訪れる。
- ・地区には内科と歯科の診療所があるが、ともに医師は高齢で後継者は不在。
- ・最寄の鉄道駅(JR長船駅[瀬戸内市])までは片道約10km。平日はJR長船駅へ1日7便、市役所やスーパー、病院のある片上(片道11km)へ1日8便、ショッピングモール「海の駅」(片道約6km)を経由して吉永へ1日6便の市営バスが運行されている。
- ・地区に唯一のガソリンスタンドは、数年前に廃業し、最寄のスタンドは約10km離れている。
- ・小学校は地元にあるが、中学生は片道約10kmをスクールバスで通学している。部活動等のため早出や帰宅が遅くなる高校生は、バス利用が難しい(長船駅発最終18:25)ため、朝晩車で駅まで送り迎えをする家庭が多い。

地域課題と解決に向けた方向性

鶴海地区は、通院や買物などの日常生活に車が不可欠という典型的な中山間地域であるため、運転免許の返納に踏み切れない高齢者が非常に多い。また、独居や高齢夫婦のみの世帯が多く、免許返納後の外出手段はバスかタクシーとなるが、バスの走る県道から各集落に向かって上り坂となっており、虚弱な高齢者にとっては車なしでの買物は重労働であり、またタクシーを頻繁に利用できるほど経済的に余裕のある世帯は少ない。

当地区は、平日は上下それぞれ13便の市営バスが運行されており、各集落とバス停を結ぶ交通手段があれば、**市営バスの活性化**はもちろん、**地域住民のお出かけの利便性の向上**、**生活の質(QOL)の向上**のほか、**高齢者の介護予防の効果**も期待できる。特に小回りの利くグリーンシロモーターは、細い路地や坂道が多く、ガソリンスタンドのない鶴海地区での活用に適していると考えられる。

鶴海地区では「NPO法人スマイル・つるみ」を中心に、さまざまな地域課題の解決に地域自らが取り組む基盤があり、将来的には鶴海地区をモデルとして、地域のお出かけを住民主体で確保する仕組みを進めたいと考えている。なお、第2次備前市総合計画(後期基本計画)には、まちづくりと合わせた共助による輸送方法の検討を明記しており、また備前市地域福祉計画・地域福祉活動計画には、外出支援に取り組む団体に対する支援や地域の支え合い活動の推進等について明記している。

実証の全体像

実証調査では、有償運送としての運行と登録不要な高齢者のサロン送迎の付き添い支援の両方を想定している。

有償運送の想定としては、朝便として指定したバス7便について、自宅からバス停まで電話予約によるオンデマンド方式の送迎を、また昼便として指定したバス6便について、バス停から自宅付近まで予約なしでの送迎を行う。運転者と利用者が感じる「乗りやすさ」や「乗り心地」などの実車の意見や感想を集約し、グリーンスローモビリティの特性が鶴海地区に適合しているかどうかを総合的に検証する。

また、高齢者のサロン送迎の付き添い支援の想定では、11月3日(土)開催予定の「コーヒーサロン」への高齢者の送迎を通じて、NPO法人の会員を中心に乗降時の介助等の体験実習を行いたいと考えている。

さらに、11月10日(土)に開催予定の「市民ふれあい福祉まつり・こども応援フェスタ」では、会場の備前市総合運動公園内をフリー乗降で巡行し、高齢者や小さな子どもを対象とした体験乗車を通じて、グリーンスローモビリティを広く市民へ周知することを考えている。

実証により実現を目指す地域交通の将来像

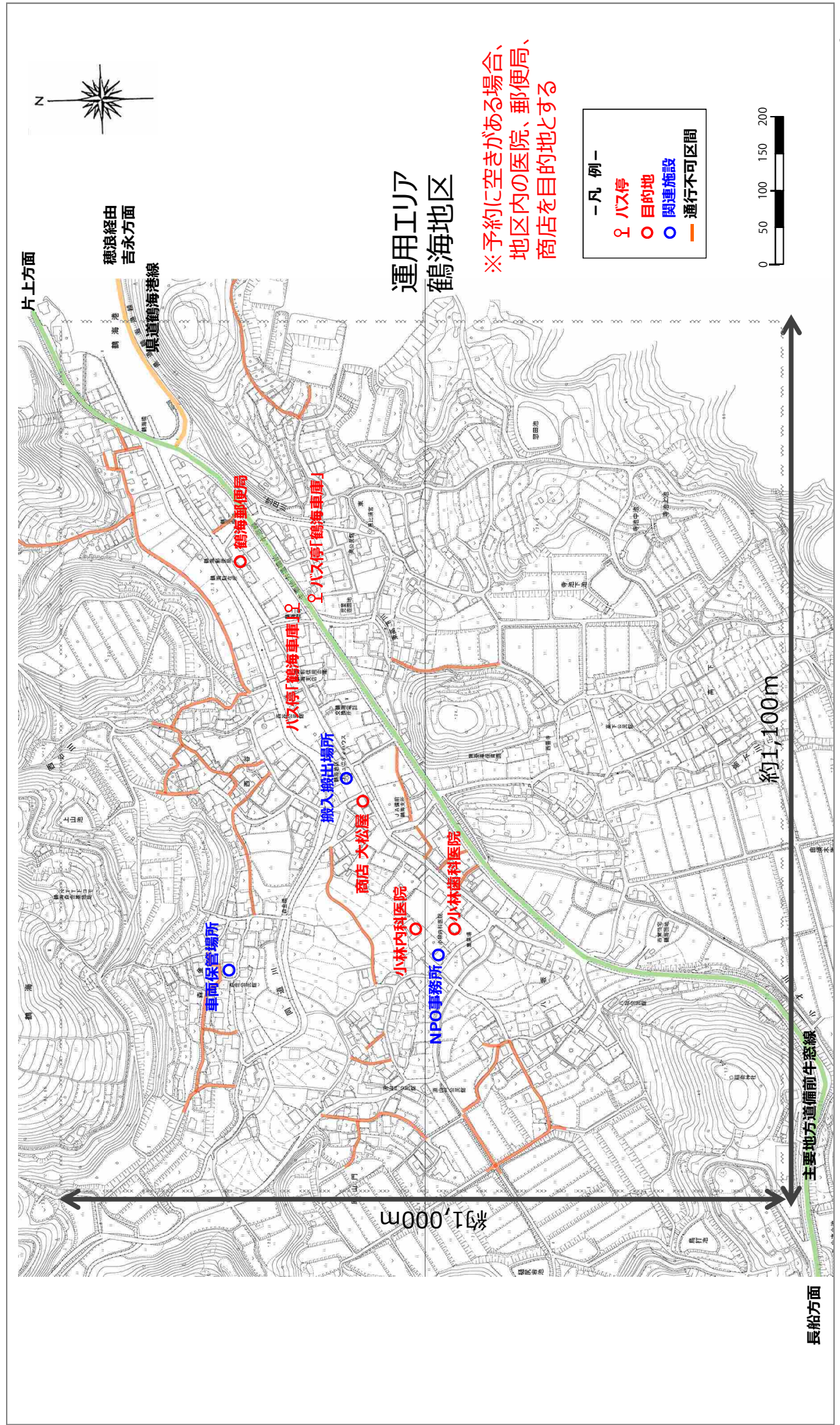
鶴海地区では、誰もが住み慣れた場所で本人の自由な選択のもと、ともに支えあいながら自立した生活ができる地域づくりを目指している。地域住民のさまざまな困りごとの解決に向けた支援を行っているNPO法人スマイル・つるみは、住民のお出かけ対策として、まずは登録不要のサロン等への付き添い支援サービスの提供を考えているが、有償運送を想定した実証調査から高齢者以外のニーズも把握したうえで、あるべき地域交通の具体化と実施体制の確立に向けて協議を進めていく。

全市的には、グリーンスローモビリティの特性を生かして、駅やバス停などの公共交通の拠点から自宅までのラストワンマイルを地域自ら補完する仕組を構築し、自宅から最寄の地域交通の拠点まで、多少の距離や高低差があってもあきらめずに外出できるような「地域独自の交通手段」を市内各地に広げていきたい。

住民主体の取組については地域ごとに温度差があるため、現在備前市内10地区で設置を進めている「まちづくり会議」を活用し、地域に適した持続可能な公共交通、外出支援等についての将来像を検討・具体化し、市民、事業者、行政のそれぞれの役割を明確にしたうえで、みんなに親しまれる地域交通の体系を構築していく。

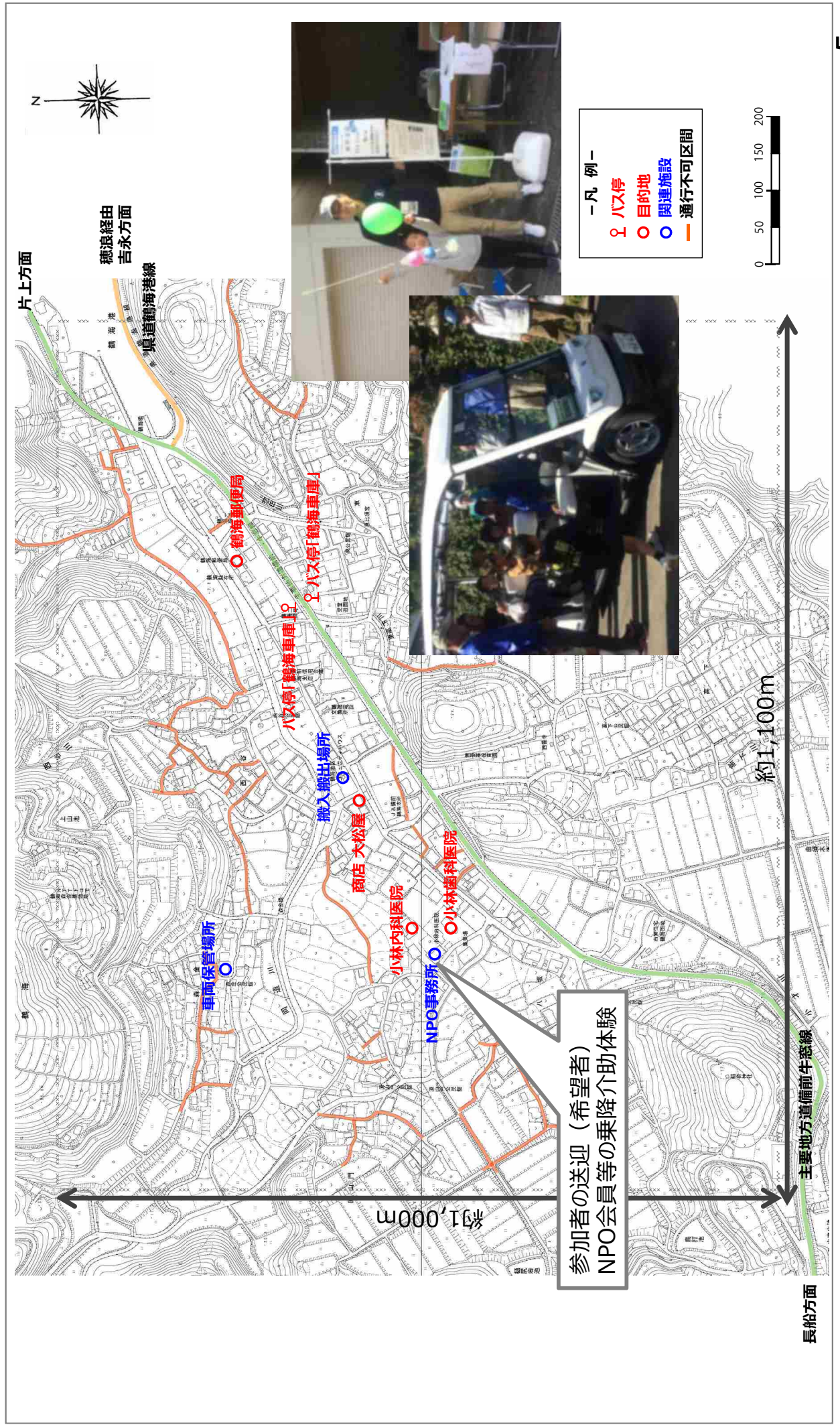
【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】(1)平日(月～金) 朝便:自宅→バス停、昼便:バス停→自宅



【3 実証調査の詳細】

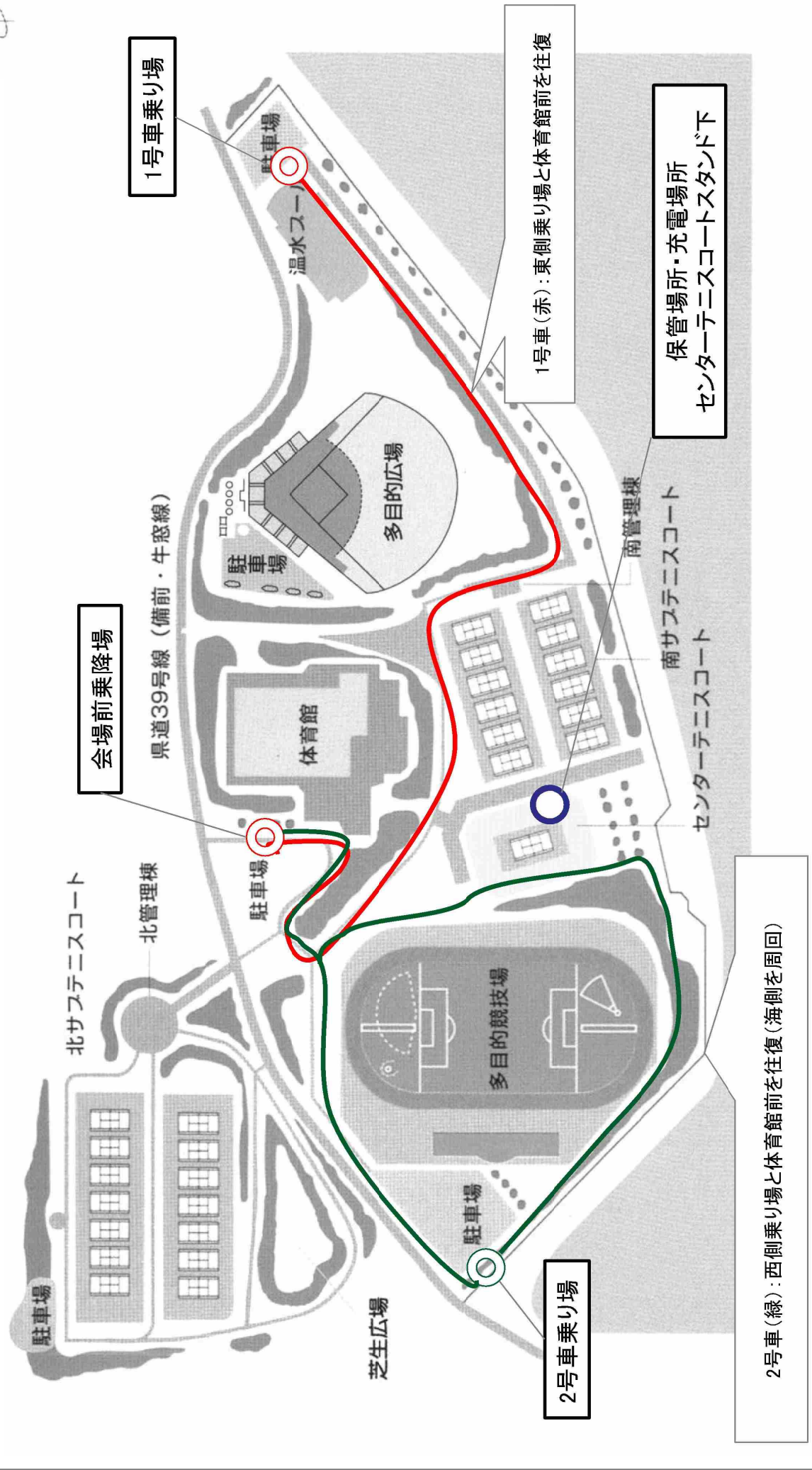
【3.1 運用エリア】 (2) コーヒーサロン送迎エリア【11/3(土)】



【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】 (3) 市民ふれあい福祉まつり・こども応援フェスタ【11/10(土)午前】

会場：備前市総合運動公園



【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】 (1) 運行概要

実施期間	平成30年10月29日(月)～11月10日(土) ①平日 10月29日(月)～11月2日(金)、11月5日(月)～11月9日(金) ②サロン送迎 11/3(土) ③市民ふれあい福祉まつり・こども応援フェスタ 11/10(土) ※日曜日は運行休止
運行ルート	①朝便：自宅→バス停『鶴海車庫』 昼便：バス停『鶴海車庫』→自宅 ※朝便は前日までのデマンド予約、昼便は予約無 ※予約に空きがある場合、地区内の医院、郵便局、商店を目的地とする ※バス停を優先とした予約、運行を行う ②自宅⇄サロン(NPO事務所 鶴寿荘) ③備前市総合運動公園内
使用車両	ゴルフカート7人乗り 2台(ヤマハ)
運転手	①・②”NPO法人スマイル・つるみ“のメンバー7名、③備前市職員8名
車両保管場所	NPO事務所近くの倉庫(屋根あり)、イベント時は備前市総合運動公園
利用者 確保方法	1) 鶴海地区内の全戸(約330世帯)を対象にチラシを配布 2) NPOメンバー(約30名)による積極的な周知活動 3) 備前市広報“広報びげん”に掲載
効果検証方法	1) 運行日誌(利用便と利用人数、その他気づき) 2) アンケート調査(実証内容及び車両の評価 等) 3) GPS調査(走行ルート・距離の把握) 4) 運行関係者(NPO)へのヒアリング(工夫した点、事業化に向けた課題 等)

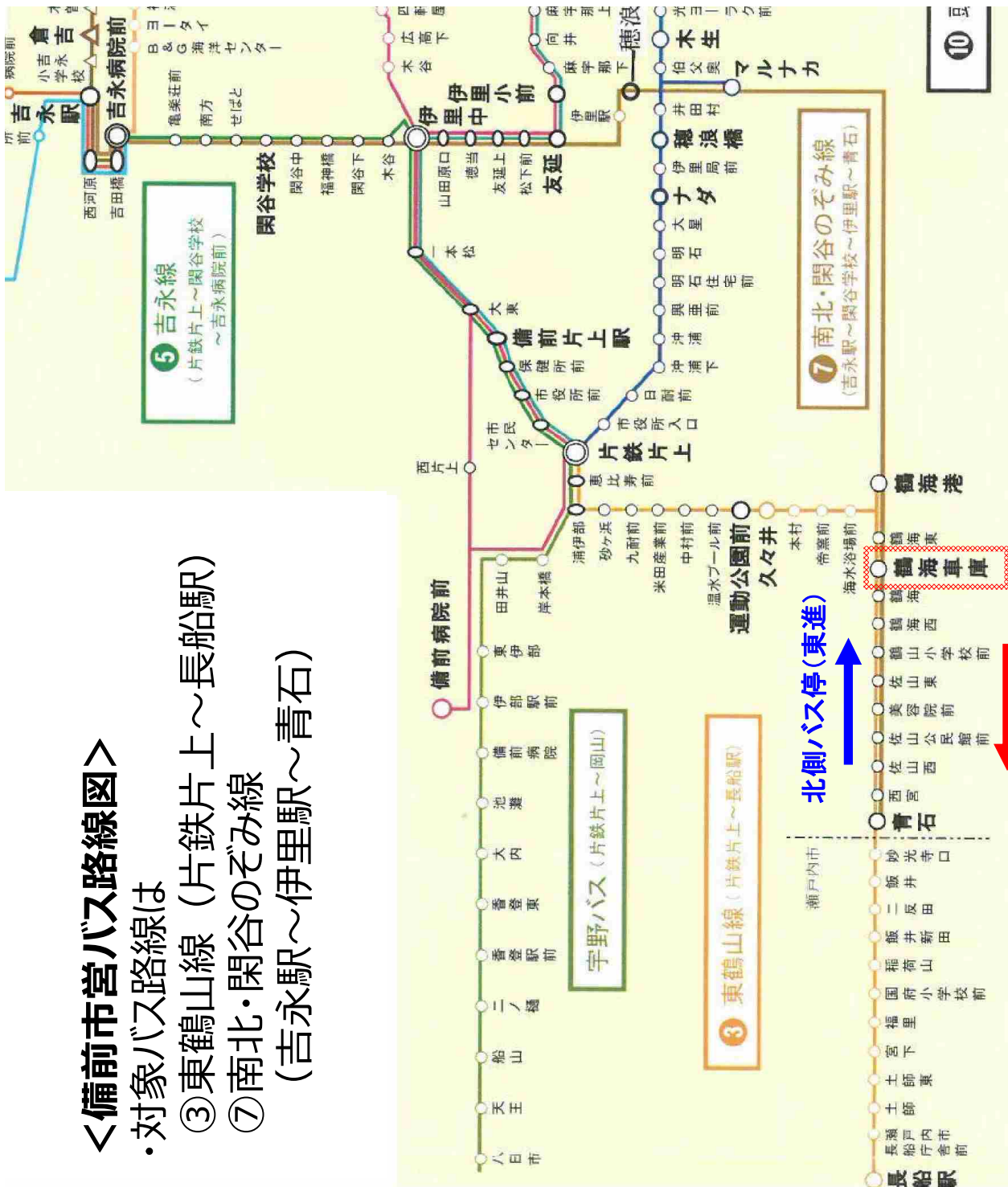
【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(2)運行ダイヤ ①平日〔月～金〕 “鶴海車庫”の 北側バス停(東進) 南側バス停(西進)

時間帯	便数	グリスロ出発地	グリスロ目的地	市営バス
鶴海バス停 への送り 【朝便】	1便	予約者の自宅	鶴海車庫 7:22着【バス7:27発】	東鶴山線 長船駅行き
	2便	予約者の自宅	鶴海車庫 7:32着【バス7:37発】	東鶴山線 片鉄片上行き
	3便	予約者の自宅	鶴海車庫 8:08着【バス8:13発】	東鶴山線 片鉄片上行き
	4便	予約者の自宅	鶴海車庫 8:40着【バス8:45発】	東鶴山線 長船駅行き
	5便	予約者の自宅	鶴海車庫 9:23着【バス9:28発】	東鶴山線 片鉄片上行き
	6便	予約者の自宅	鶴海車庫 9:54着【バス9:59発】	南北・関谷学校のぞみ線 吉永駅行き
	7便	予約者の自宅	鶴海車庫 10:15着【バス10:20発】	東鶴山線 長船駅行き
鶴見バス停 から 自宅への送り 【昼便】	1便	鶴海車庫 10:53発【バス10:48着】	自宅への送り	南北・関谷学校のぞみ線 青石行き
	2便	鶴海車庫 11:03発【バス10:58着】	自宅への送り	東鶴山線 片鉄片上行き
	3便	鶴海車庫 11:53発【バス11:48着】	自宅への送り	南北・関谷学校のぞみ線 青石行き
	4便	鶴海車庫 12:15発【バス12:10着】	自宅への送り	東鶴山線 長船駅行き
	5便	鶴海車庫 13:23発【バス13:18着】	自宅への送り	東鶴山線 片鉄片上行き
	6便	鶴海車庫 13:48発【バス13:43着】	自宅への送り	南北・関谷学校のぞみ線 青石行き

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

- ＜備前市営バス路線図＞
- ・対象バス路線は
 - ③東鶴山線（片鉄片上～長船駅）
 - ⑦南北・閑谷のぞみ線
（吉永駅～伊里駅～青石）



【3 実証調査の詳細】
【3.2 運用方法】

(2)運行ダイヤ ②コーヒーサロン 11/3(土) 11時開会～14時頃終了

エリア	運行便	出発	到着	備考
県道北側 (1号車)	1便	利用者の自宅	NPO事務所 10:20	
	2便	利用者の自宅	NPO事務所 10:50	
	3便	NPO事務所 13時頃	利用者の自宅	
	4便	NPO事務所 14時頃	利用者の自宅	
県道南側 (2号車)	1便	利用者の自宅	NPO事務所 10:20	
	2便	利用者の自宅	NPO事務所 10:50	
	3便	NPO事務所 13時頃	利用者の自宅	
	4便	NPO事務所 14時頃	利用者の自宅	

(3)運行ダイヤ ③市民ふれあい福祉まつり 11/10(土) 9:30～14:00

エリア	便数	駐車場	メイン会場	備考
園内東側 (1号車)	約15分間隔	温水プール駐車場 (1号車乗り場)	メイン会場 体育館前 メイン会場 (会場前乗降場)	
園内西側 (2号車)	約15分間隔	多目的競技場駐車場 (2号車乗り場)		

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(3)周知・広報計画〔利用者確保方法〕

- ・ 鶴海区長会
- ・ 9/29鶴海区長会(総区長ほか6区長)へ概要を説明、利用とアンケートを依頼
- ・ 皆さん関心あり、協力的な雰囲気
- ・ チャシ配布
- ・ 鶴海地区内の全戸(約330世帯)を対象にチャシを配布 ※10/15の週から配布
- ・ NPO周知活動
- ・ NPOメンバー(約30名)による地区住民への声かけ
- ・ 市広報誌
- ・ 備前市広報誌“広報びぜん”に“市民ふれあい福祉まつりの体験試乗会”のみ掲載 ※10月末市内全戸配布
- ・ マスコミ
- ・ 10/11市政記者会(マスコミ)に情報提供(FAX)

▼ チャシ (NPO作成)

鯉海お出かけちよい乗りカート運行事業

※必ず前日の17時までにお電話にて予約してください!

① 対象エリアのNPO(福祉センター)に申し込み、車種・台数の確認・予約の日程について話し合う
② 申込みの決定は必ず電話またはメールにて実施(予約完了となります。特別車は別途申し込みます)
③ 対象エリアのNPO(福祉センター)に申し込み、車種・台数の確認・予約の日程について話し合う

※ご利用には必ずお読みください

観覧料	平日ダイヤ	休日ダイヤ
片上り	520	520
往復	813	845
10分	928	1020
20分	1038	1210
30分	1148	1345
40分	1258	1480
50分	1368	1615
60分	1478	1750
70分	1588	1885

※送迎無料 スローモビリティでの地域内の送迎は無料です。

□で囲っている時間帯が送迎の対象となります。各福祉センターの利用がたいへん、申し込みは必ずお電話にてお問い合わせください。

④ 予約の確定は必ず前日17時までに電話またはメールにてお申し込みください。ご乗車を約します。

⑤ 予約の確定は必ず前日17時までに電話またはメールにてお申し込みください。ご乗車を約します。

※日曜運休(11月9日)はスマイルつるみ感謝会への参加のみとなります。
この事業は、福祉交流や福祉意識の向上、福祉の普及促進を目的として実施されています。ご理解とご協力をお願いします。

⑥ 予約の確定は必ず前日17時までに電話またはメールにてお申し込みください。ご乗車を約します。

※日曜運休(11月9日)はスマイルつるみ感謝会への参加のみとなります。
この事業は、福祉交流や福祉意識の向上、福祉の普及促進を目的として実施されています。ご理解とご協力をお願いします。

▼ 市民ふれあい福祉まつりの体験試乗会の告知 (備前市広報誌)

体験乗車できます

人と環境にやさしい7人乗り電動ゴルフカート「グリーンスローモビリティ」が公園内を走行します。より多くの皆さんに体験いただくため、ゆずりあってご乗車ください。

子ども応援フェスタ
市民ふれあい福祉まつり 会場

会場駐車場案内図

133台
ゴルフカート乗り場

73台
体験乗車場

45台
体験乗車場

70台
体験乗車場

社会福祉課社会福祉係(☎64-1827)

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(4) デマンド予約の運用

項目	運用方法
予約窓口	“NPO法人スマイル・つるみ”事務所
受付時間	平日8時～17時（土日は、予約は休み）
予約方法	<p>・前日までに電話予約</p> <p>①名前、②自宅の住所、③乗りたい日、④乗りたい便、⑤目的地の確認（※）、⑥乗車場所（自宅、自宅近くの目印）、※バス停『鶴海車庫』以外の地区内の医院、郵便局、商店を希望する場合、一旦、利用希望時間を聞いておき、前日の運行ミーティングで調整した対応可能時間を利用者に連絡する。</p>

ちよい乗りカート予約受付表

利用者名	月日 (曜日)	時間	乗車場所 (住所・目印等)	目的地	利用者電話番号	年	月	日	責任者サイン
行・帰	(/)	：							
行・帰	(/)	：							
行・帰	(/)	：							
行・帰	(/)	：							
行	/								

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

(5) 効果検証方法(調査方法)

調査	調査方法
運行日誌	・利用便毎に利用者数、その他気づきを運転手が記入
アンケート調査	・後日、利用者にアンケート調査票を配布、回収(必要に応じて聞き取り調査)
GPS調査	・運転手がGPS端末の電源スイッチを操作 ・GPS端末の回収交換(備前市、週2回) ・GPS端末のデータ集計(受託業者)
運行関係者へのヒアリング	・実証期間終了後、備前市でヒアリングを実施

▼ 運行日誌

年月日

検印 1号車 開始メーター 終了メーター

氏名

ちよいい乗りカート運行日誌

時間	利用者名	乗車回数 (往程・目的地)	目的地	備考

▼ アンケート調査票案 (10/25時点)

10/25時点 備前市備前地区

グリーンズローモビリティ 利用者アンケート調査

期1 あなた自身のことについて、該当する番号に○をつけ、() に記入してください。
 (1) 性別/年齢 ① 男性 / ② 女性 / ()歳
 年齢 ()歳
 (2) 自動車運転免許をお持ちですか。
 ① 免許を持っている ② 免許を持っていないが運転した ③ もともと免許を持っていない

期2 利用回数や目的地について、番号() に記入してください。
 期前中、今回取りましたが、そのまな行先社までここでして、往復は2回とさせていただきます。
 「まな行先」は、いつもなら原を乗って行きますか、該当する番号に○をつけてください。
 ① 免許を持っていない ② 免許を持っていないが運転した ③ もともと免許を持っていない

利用回数	目的地	10/25時点の乗車回数(往程・目的地)
乗車回数 ()回 ()回	()回 ()回	① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(同乗) ④ 自転車(同乗) ⑤ 市営バス ⑥ 電車 ⑦ タクシー ⑧ その他 ()
乗車回数以外 ()回 ()回	()回 ()回	① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(同乗) ④ 自転車(同乗) ⑤ 市営バス ⑥ 電車 ⑦ タクシー ⑧ その他 ()

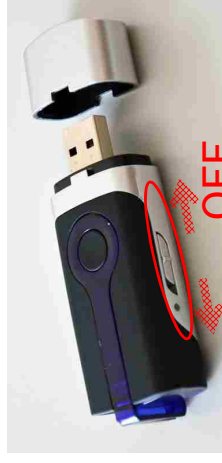
期3 送迎について、該当する番号に○または() に記入してください。
 (1) 送迎予約による送迎はいかがでしたか。
 ① 便利 ② 不便 ③ どちらでもない
 (2) 乗付心願はありますか
 ① 乗付心願はありますか ② 不付 ③ どちらでもない
 (3) 今後も続けてほしいですか。
 ① 来時でも続けてほしい ② 来時でも続けてほしい ③ 来時でも続けてほしい
 ④ 来時でも続けてほしい ⑤ 来時でも続けてほしい ⑥ 来時でも続けてほしい
 ⑦ 来時でも続けてほしい ⑧ 来時でも続けてほしい ⑨ 来時でも続けてほしい

期4 グリーンズローモビリティがある、お出かけする回数が増えますか、該当する番号に○をつけてください。
 ① 増えると思う ② 少しは増えると思う ③ 変わらないと思う ④ 変わらない
 ⑤ 減ると思う ⑥ 減らないと思う ⑦ 変わらないと思う ⑧ 変わらない

期5 グリーンズローモビリティについて、ご感想、ご意見をお聞かせください。
 ()

ご協力ありがとうございます。

▼ GPS端末



ON OFF
電源

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(6) 必要インフラ等の確認

項目	内容
車両	・ゴルフカート7人乗り×2台〔全長3,960 全幅1,330 全高1,840 最少回転半径4.5m〕
保管場所	①NPO事務所近くの倉庫 ②備前市総合運動公園内のセンターテニスコートの倉庫
充電設備	①NPO事務所近くの倉庫の電源：200V×2口、差込口コンセント型の変更工事を実施 ②備前市総合運動公園内の電源：200V×2口、差込口コンセント型及び 電圧(100V⇒200V)の変更工事を実施
乗降場所	①『鶴海車庫』バス停 ②サロン会場『鶴寿荘』 ③備前市運動公園内(イベント時) ④その他目的地(医院、郵便局、商店)

▼ NPO事務所近くの倉庫(2台駐車可)



▼ 倉庫内の電源(200V×2口)



【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】 (6)必要インフラ等の確認

▼ バス停“鶴海車庫”(目的地)



▼ 地区内の商店(目的地)



▼ NPO事務所(サロン会場)



▼ 鶴海地区コミュニティハウス(搬入搬出場所)



▼ 備前市総合運動公園内の通路



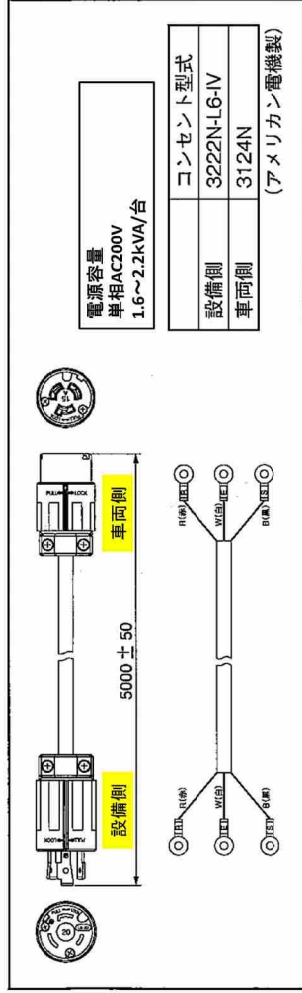
▼ センターテニスコートの倉庫(保管場所)



【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】 (6)必要インフラ等の確認

▼ 受電コードと差込口

● ACコード



▼ ゴルフカート7人乗り



▼ 車両掲示 (前部A4サイズ)



▼ 車両掲示 (後部A3サイズ)



【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(7) 搬入搬出、保管、移送

項目	日時	場所	手順と担当者
搬入 【借受】	10/25(木) 14時～	鶴海コミュニティ ハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・YMPCがトラックで搬入 ・受取り立会い〔備前市職員〕 ・保管場所への移動〔備前市〕
搬入当日 の保管	10/25(木)～ 10/26(金)	NPO事務所	<ul style="list-style-type: none"> ※車両は満充電で搬入〔YMPC〕
運転者 講習会	10/26(金) 13時～16時	NPO事務所、周 辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・YMPCの講習 ・運転者の試運転
鶴海地区 での保管	10/26(金)～ 11/9(金)	NPO事務所近く の倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・保管、充電
イベント会場 への移送	11/9(金) 14～16時	鶴海地区⇒備前 市総合運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・山越え→県道を通行(約5km)〔備前市職員2名〕 ・翌日イベントに備えて保管場所で充電
イベント会場 での保管	11/9(金)～ 11/10(土)	センターテニス コートの倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・保管、充電
鶴海地区へ の移送	11/10(土) 16～17時	備前市総合運動 公園⇒鶴海地区	<ul style="list-style-type: none"> ・県道→山越えを通行(約5km) ・鶴海地区区保管場所で充電
搬出 【返却】	11/12(月) 9時30分～	鶴海コミュニティ ハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・保管場所から鶴海コミュニティハウスへ移動 ・YMPCがトラックで搬出 ・受取り立会い〔備前市職員〕

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(8) 運転者講習会

日時	10月26日(金) 13時～16時
場所	NPO事務所、周辺道路
講習内容	1) YMPCの講習(約40分) 2) 運転手の試運転 3) 乗車中及び乗降時の介助講習(社会福祉協議会)
受講者	①NPO: 運転手予定者8名 ②備前市: イベント時運転手予定者10名 ③備前市社会福祉協議会: 1名 ④受託業者: 1名
準備	・受講者は運転免許書

グリーンズローモビリティ運転手予定表

1. 運転手講習会

日時	10月26日(金)13時～16時					受講者	[REDACTED]
場所	NPO法人スマイル・つるみ事務所及び駐車場						

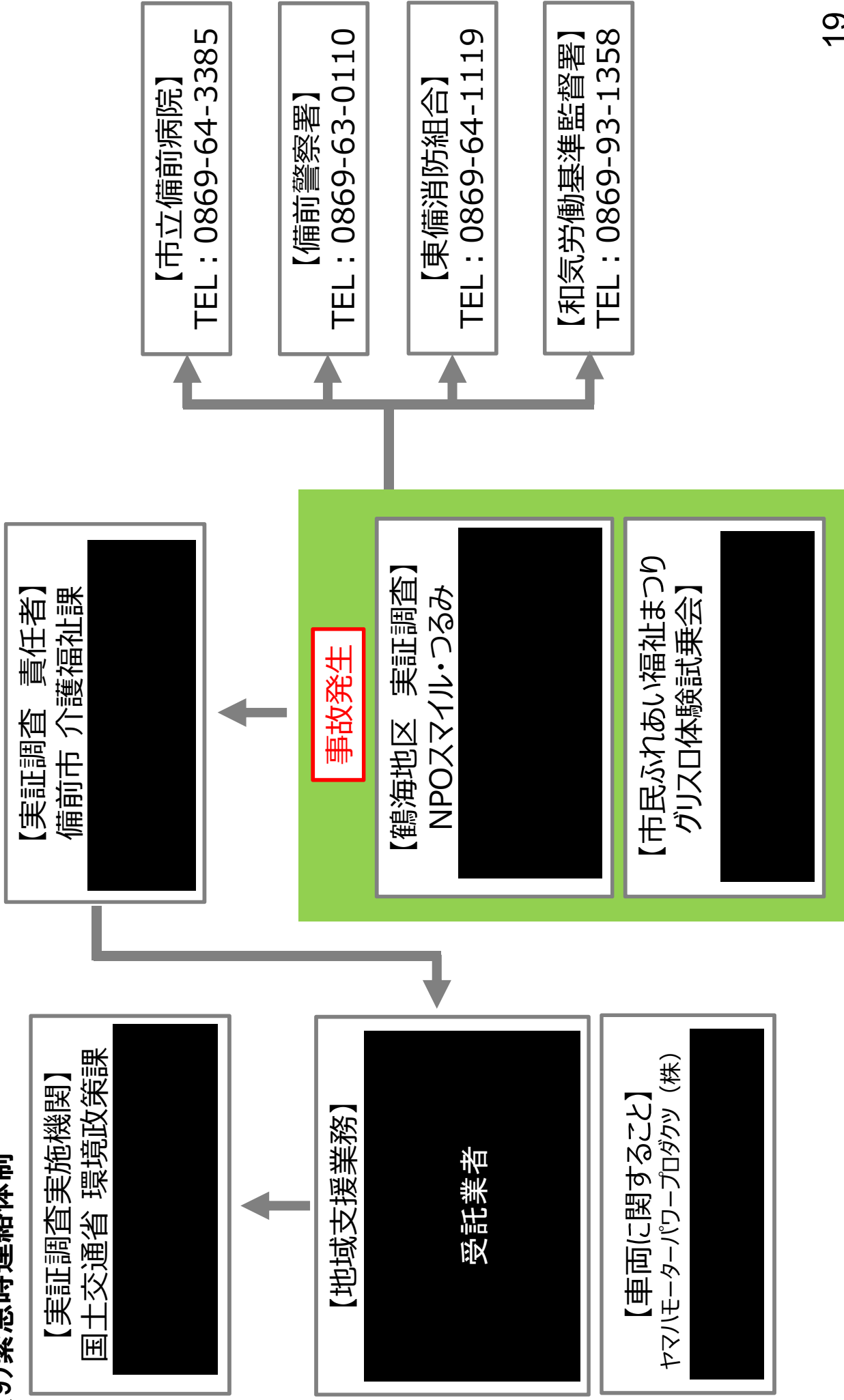
2. 運転手予定

号車	10月29日(月)	10月30日(火)	10月31日(水)	11月1日(木)	11月2日(金)	11月3日(土)	11月4日(日)
1号車	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	-
2号車	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	-
号車	11月5日(月)	11月6日(火)	11月7日(水)	11月8日(木)	11月9日(金)	11月10日(土)	11月11日(日)
1号車	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-
2号車	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-

※全員26才以上
(任意保険の条件)

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

(9)緊急時連絡体制



【3 実証調査の詳細】 【3.3 実施体制】

(1) 実施体制

団体名	役割
備前市	実証調査責任者、関係各所との調整
NPO法人スマイル・つるみ	運転手人材の輩出、地元住民への広報、利用者の意見聴取
備前市公共交通会議	本調査に関する交通事業者間の情報共有、活用方策の協議等
備前市社会福祉協議会	市民への情報提供、広報支援、生活支援コーディネーターへの指示・助言

(2) 地方公共団体内での役割分担

所属名・担当者名	役割
介護福祉課	実証調査責任者
介護福祉課	NPO法人スマイル・つるみとの調整、社会福祉協議会との調整
市民協働課	警察・運輸局・交通事業者等との調整
社会福祉課	市民ふれあい福祉まつり実行委員会との調整
建設課	道路管理者として協議

【3 実証調査の詳細】 【3.4 関係機関との調整状況】

		団体名	調整状況	備考
公共交通機関等	電車		①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	
	バス	備前市営バス	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	随時連絡
	タクシー	タクシー協会	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	10/10 資料送付
行政	道路管理者	備前市、岡山県東備地域事務所	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	10/16 県道管理者(東備局管理課)に資料送付
	地方運輸局・支局	岡山運輸支局	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	10/3 岡山運輸支局企画総務課に相談
	警察	備前警察署交通課規制担当	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	9/19 概要説明 10/11 実施期間の連絡
その他	商工会		①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	
	観光協会		①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	
	商業施設等		①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	
	福祉施設等	備前市社会福祉協議会	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	生活支援コーデイネーターの指導等を担当
	地域住民	鶴海地区住民	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	9/29鶴海区長会で概要説明、10/15より地区内全戸にチラシ配布
	通学路	備前市教育委員会	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	教育委員会から小学校へ連絡
	その他	NPO法人 スマイル・つるみ	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	広報周知、デマンド予約、運行等を担当

【3 実証調査の詳細】 【3.5 事業化に向けた検討】

構想の実現に向けた中長期のロードマップ

・事業化を目指す時期、「いつまでに何をやるのか」を明確に示すこと(現時点の想定で構わないので、できるだけ詳細に記載すること)

実施内容	平成30年度	平成31年度				平成32年度	……
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
ゴルフカートの運行による実証調査							
調査結果の評価と中長期の方針決定							
サロン送迎(訪問D)の提供に向けた体制整備							
サロン送迎(訪問D)のサービス提供開始							
有償による事業化の検討・研究							

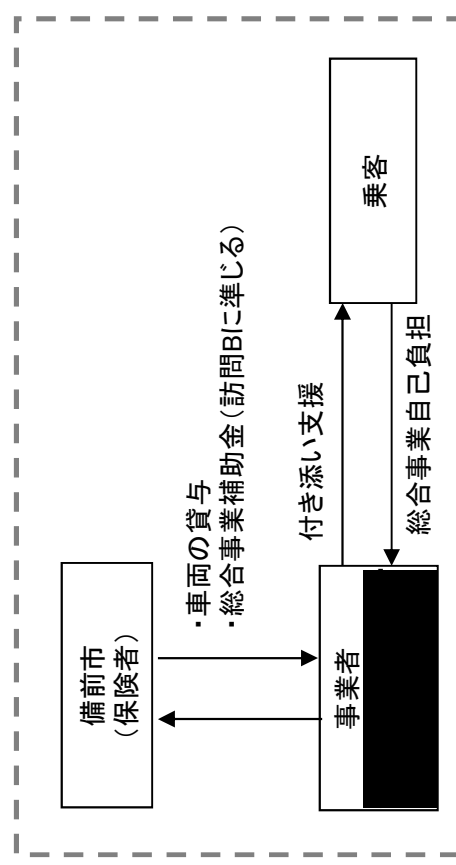
事業化後の事業スキーム

事業化の際の道路運送法上の区分

当面は登録不要(訪問型サービスD)を行いながら、有償による事業化の道を探る。

事業実施時の事業スキーム

総合事業の訪問型サービスD(訪問型サービスBに準じる単価)の制度に基づいて実施。車両は市が所有し、事業所へ貸与する。



【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

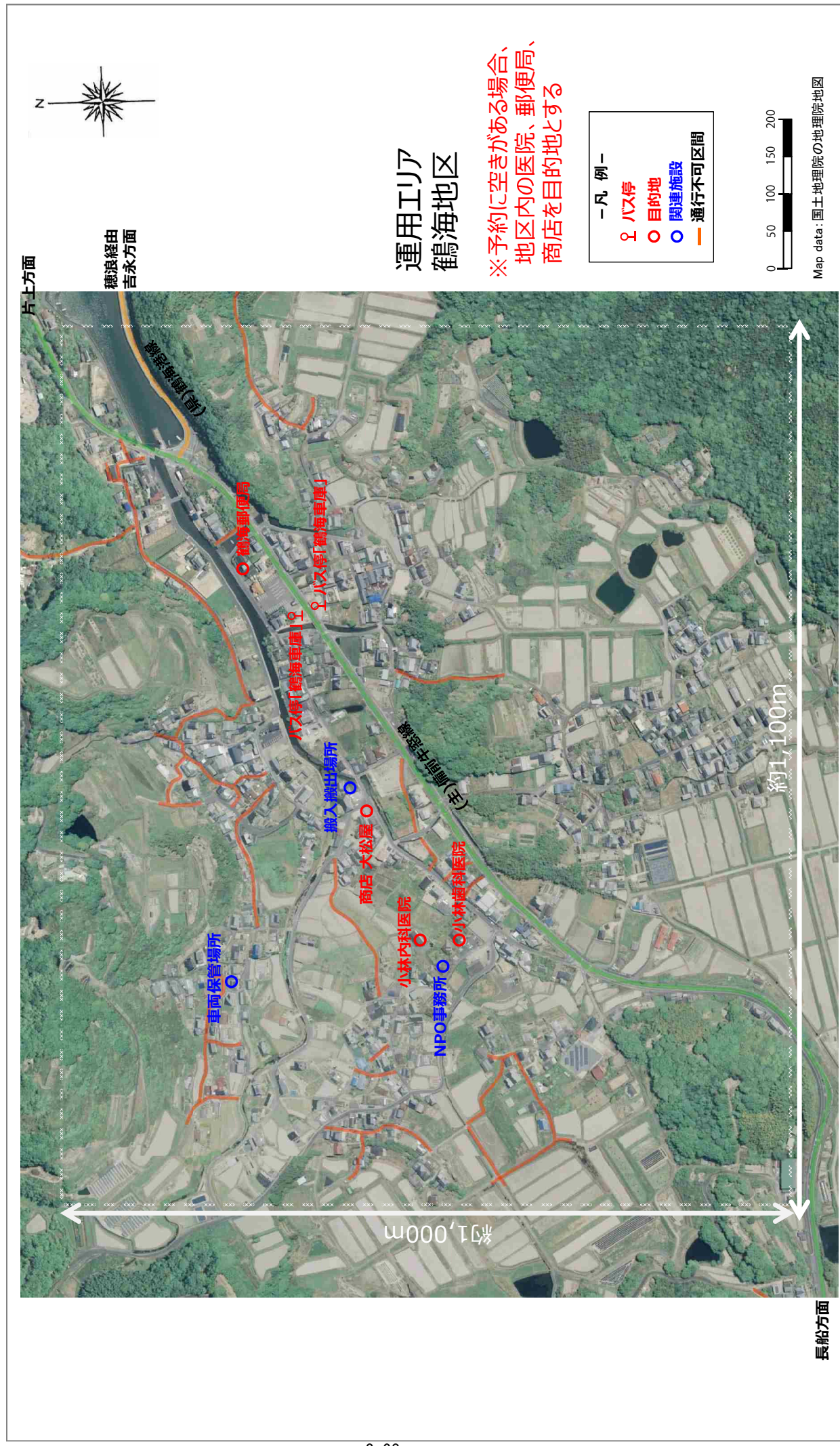
調査対象の鶴海地区の様子。県道を挟んで南北の傾斜地に集落が広がる。



平日運用エリア(スライド4)の送迎先となる「鶴海車庫バス停」付近。安全な乗降、待機のためのスペースは十分にある。



【3 実証調査の詳細】
 【3.6 その他(※記載は任意)】 参考：運用エリアの航空写真



【3 実証調査の詳細】
【3.6 その他(※記載は任意)】

鶴海お出かけちよい乗りカート運行事業
体調・車両チェック表

※NPO作成

体調チェック

運転者名		チェック項目	結果
1	発熱やだるさはないか		
2	嘔吐・下痢の症状はないか		
3	風邪薬などの眠くなる薬の服用をしていないか		
4	睡眠不足ではないか		
5	健康状態で気になることはないか		
6	足や腰の痛みやしびれがないか		
7	運転免許証を携帯しているか		
8	二日酔いではないか		
9	その他		

点検実施日	責任者確認サイン
年 月 日	

車両チェック

車両名： 一号車 ・ 二号車

点検実施者		チェック項目	結果
車周囲の点検	1	タイヤの空気圧	
	2	タイヤの亀裂・破損などの異常	
	3	ランプ類の点灯及びレンズの汚れ、損傷	
	4	ボディの汚れ及び以上の有無	
運転席に座っての点検	1	ブレーキペダルの踏みしろ	
	2	パーキングブレーキレバーの引きしろ	
	3	エンジンのかかり具合	
	4	ランプ類の点灯・点滅	
	5	燃料	
	6	メーター警告灯	
走行点検	1	ブレーキのきき	
	2	エンジンの低速及び加速の状態	
その他特記事項			

【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

市民ふれあい福祉まつり・子ども応援フェスタ(スライド6)参考資料

※子育て・障がい者・福祉団体等による出店のほか、金婚・功労者表彰等の式典が行われ、子どもからお年寄りまで、毎年多くの市民が参加している。

市民ふれあい福祉まつり & 子ども応援フェスタ

備前市総合運動公園 平成30年 11月10日(土)

市内の着ぐるみ大集合

- ☆もも丸くん
- ☆人KEN まちるくん
- ☆あひろちゃん
- ☆りあっち
- ☆ミタゴン

がやってきました!

イベントスケジュール

- ※レング広場 **ふれあいイベント村**: 構架店 9時30分~14時
パザール 10時30分~14時
- ※体育館 **サマリーナ**: 式典 9時30分~10時30分
体験 11時30分~14時
- ※体育館 **メインアリーナ**: 10時30分~14時
- ※グリーンアリーナ **モビリティ(ゴルフカート)**: 無料体験乗車: 8時45分~14時
(※充電のため運転を休止する時間帯があります)

会場案内

市民ふれあい福祉まつり (主会場)

- 10:30~ 開会式
- 10:40~ バラ・バルーン演技披露
- 11:10~ たのしい対決「さるかに合戦」(2階フロア)
- 11:20~ 中杯ブラスオーブリン
- 11:30~ 着ぐるみ登場
- 12:20~ たのしい守園「さるかに合戦」(2階フロア)
- 13:20~ 着ぐるみ登場

グリーンアリーナイベントスケジュール

- 10:30~ 開会式
- 10:40~ バラ・バルーン演技披露
- 11:10~ たのしい対決「さるかに合戦」(2階フロア)
- 11:20~ 中杯ブラスオーブリン
- 11:30~ 着ぐるみ登場
- 12:20~ たのしい守園「さるかに合戦」(2階フロア)
- 13:20~ 着ぐるみ登場

市民ふれあい福祉まつり & 子ども応援フェスタ 駐車場図

市民ふれあい福祉まつり & 子ども応援フェスタ 駐車場図

送迎バス乗降場
身体障がい者専用駐車場
※一般の車の駐車はご遠慮ください。

市民ふれあい福祉まつり会場
子ども応援フェスタ会場

133台 73台 70台 45台

駐車場

市民ふれあい福祉まつり会場
子ども応援フェスタ会場

※駐車場の混雑が予想されますので、乗り合わせでお越しください。

市民ふれあい福祉まつり

《主催》 備前市民ふれあい福祉まつり実行委員会・備前市
《後援》 山陰新聞社
備前市社会福祉協議会・備前市老人クラブ連合会
備前市身体障害者福祉協会・備前市民生委員・児童委員協議会
備前市母子養育福祉センター・社会福祉法人ひだすき・社会福祉法人栄つ子
社会福祉法人旭川荘いんふく園センター・社会福祉法人ひだすき・社会福祉法人栄つ子
NPO法人東備ワークハウスユースピア・NPO法人あおぞら会等
NPO法人岡山県山陽新卒生備前支部・ボランティアグループふれあい
備前地区更生保護女性会・備前市婦人協議会・備前市シルバー人材センター
一般財団法人備前市施設管理公社・東備地自立支援協議会・総合ケアハラスリンクス (順不同)

子ども応援フェスタ

《主催》 子ども応援フェスタ実行委員会・備前市
《後援》 山陰新聞社
和気徳利協議会・備前市主任児童委員連絡部会・備前保健所管内児童委員連合会・備前市栄養委員会
備前市老人クラブ連合会・一般財団法人備前市施設管理公社・備前市福祉広報連
備前市福祉会・備前市放課後・ひなせ折り鶴の会・備前市放課後児童クラブ
社会福祉法人旭川荘いんふく園センター・子育て応援隊「ハルーンアート」・連携協定大学(岡山県立大学)
備前市障害者地域活動支援センターゆずりは・東備消防組合・備前市福祉協議会・行政相談委員
NPO法人備前プレーパークの会・NPO法人子ども連の環境を考えるひこうせん
NPO法人ふれあいの村・NPO法人美穂子どもNPOセンター・Mプロジェクト協議会
備前市障がい者福祉協議会・備前市福祉協議会(株)株式会社ミツホー(一般財団法人)

【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

※10/25時点

H30.11.10 市民ふれあい福祉まつり

グリーンズローモビリティ利用者アンケート調査

本日は、グリーンズローモビリティ（ゴルフカート）をご利用いただきありがとうございます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

問1 あなたご自身のことについて、該当する番号に○を付け、空白に記載ください。

(1) 性別/年齢 ① 男性 ・ ② 女性 / () 歳
 (2) お住まい ① 備前市 () ② 市外(市町村名:)

問2 この乗り物（グリーンズローモビリティ）を何で知りましたか？【複数回答可】

①新聞を見た ②SNSを見た ③市のホームページを見た
 ④閲覧板を見た ⑤通りがかり（知らなかった） ⑥その他 ()

問3 この乗り物に乗った感想は？【複数回答可】

①便利・面白い ②景色を楽しめた ③心地よかった
 ④乗り・降りしやすい ⑤スピードが遅い ⑥暑そう・寒そう
 ⑦その他 ()

問4 この乗り物は、どのような場所で活用できると思いますか？【複数回答可】

①公園内の移動 ②観光地内の移動 ③駅やバス停までの移動
 ④買い物や通院の移動 ⑤家族や友人の送迎
 ⑥その他 ()

問5 あなたの身近な地域でこの乗り物が交通の手段となることを期待しますか。

①期待する
 ②期待しない【理由:]
 ③わからない

問6 乗車料金がいくらまでなら利用しますか？

①無料でなければ利用しない ②100円 ③200～300円
 ④その他()
 円程度)

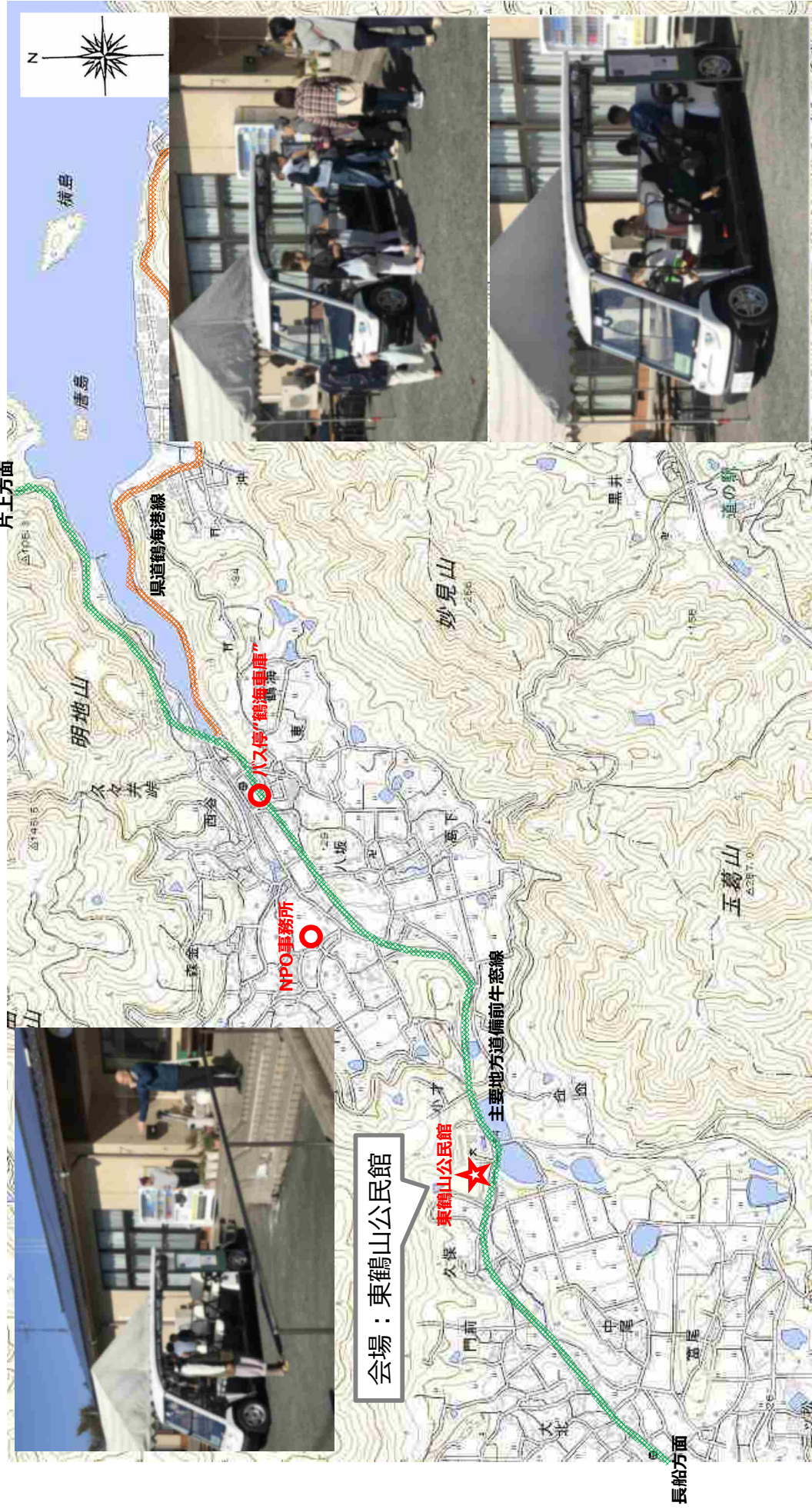
問7 グリーンズローモビリティ（ゴルフカート）について、ご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

備前市東鶴山公民館 文化祭での車両展示【10/28(日)】

※NPOスマイル・つるみで実施



【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

「東鶴山頭すっきりサロン※」での車両展示、体験試乗【11/7(水)】

※認知症予防教室(担当:地域包括支援センター)



東鶴山頭すっきりサロン

最近もの忘れが気になる...からだが動きにくくなってきた...そんな方へ!
月1回東鶴山公民館に集まって、楽しく笑って頭も身体も元気にしませんか?

会場 東鶴山公民館 多目的ホール

日時 毎月第1水曜日
13時30分~15時30分

参加費 500円

時参品 ※初参加の時持参ください
上履き・飲み物・動きやすい服装

参加者 約10名(女性が多い)

<日程>※H31年1月は第1水曜日が祝日なので2週目になります。

1	4月 4日 (水)	7	10月 3日 (水)
2	5月 2日 (水)	8	11月 7日 (水)
3	6月 6日 (水)	9	12月 5日 (水)
4	7月 4日 (水)	10	1月 9日 (水)
5	8月 1日 (水)	11	2月 6日 (水)
6	9月 5日 (水)	12	3月 6日 (水)

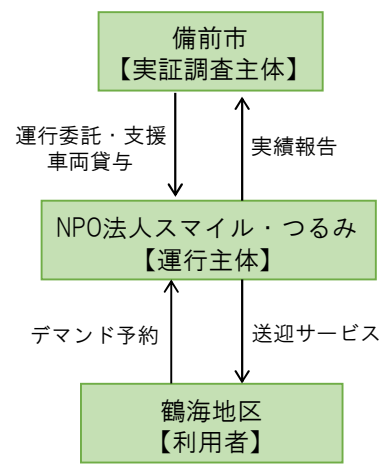
お問い合わせ
地域包括支援センター
TEL 64-1844 (担当: 矢津、杉山)

3.4.2 実証調査の実施

1) 実証調査概要

実証調査については以下の通り実施した。

表 実証調査概要

■調査概要		
概要	実施期間	平成30年10月29日(月)～11月11日(日)※日曜日は運行休止 ①平日 10月29日(月)～11月2日(金)、11月5日(月)～11月9日(金) ②サロン送迎 11/3(土) ③市民ふれあい福祉まつり・こども応援フェスタ 11/10(土)
	運行ルート	①朝便:自宅→バス停『鶴海車庫』 昼便:バス停『鶴海車庫』→自宅 ※予約に空きがある場合、地区内の医院、郵便局、商店を目的地とする ②自宅⇄サロン(NPO事務所 鶴寿荘) ③備前市総合運動公園内
	運転手	①・②”NPO法人スマイル・つるみ“のメンバー7名、③備前市職員8名
導入車両	ヤマハゴルフカート(7人乗り) 2台	
 		
■役割分担		
調査主体	備前市 保健福祉部 介護福祉課	
運行主体	NPO法人スマイル・つるみ	
その他		

2) 実証調査の様子



図 実証調査の様子

3) 広報資料

利用者確保のための広報資料については以下の通り作成した。

鶴海お出かけちょい乗りカート運行事業

☆必ず前日の17時までにお電話にて予約してください！

こんな時に利用できます

①市営バスの〇〇時差に乗りたので迎えに来てもらいたい、乗りは〇〇時頃ついで自宅まで送ってほしい(デマンド)
※バス停の送迎はすべて「鶴海車庫バス停」となります。時刻表は下記に記載しています。

②鶴海地区内の医院(小林医院・小林歯科)、郵便局、商店(大松屋)までの送迎をお願いしたい。

鶴海車庫		予定通過時刻表		送迎無料	
東鶴山線	平日ダイヤ	南北・ぞみ線	平日ダイヤ	スローモビリティでの地域内の送迎は無料です。	
片上行	長船行	マルオカ行	佐山行	<input type="checkbox"/> で囲っている時間帯が送迎の対象となります。お電話の際に利用になりたい時間、行先を必ずお伝えください。	
6:56	6:48	9:59	9:43		
7:37	7:27	11:04	10:48		
8:13	8:45	12:04	11:48		
9:28	10:20	13:59	13:43		
10:58	12:10	15:04	14:48		
13:18	16:42	17:29	17:13		
17:26	17:58				
18:45					

頼むにはどうしたらいい?

①スマホ・つるみ理事まで前日の17時までにお電話を入れてください。ご都合をお願いします。
携帯: [電話番号] まで

②予定の場所へ5分前位につくように自宅へカートで迎えに行きます。

実証期間
平成30年10月29日(月)～11月9日(金)

※日曜運休(11月3日(土))はスマホつるみ感謝祭への送迎のみとなります。
この事業は…国土交通省が実証調査として、時速20キロ未満の低速で手動・電動で走る新しい公共交通・観光用車両「グリーンスローモビリティ」を鶴海地区で「デマンド型ラストワンマイルモビリティ」として試します。ご利用は無料です。ご利用後に簡単なアンケート調査を行いますので協力ください。

体験乗車できます

人と環境にやさしい7人乗り電動ゴルフカート「グリーンスローモビリティ」が公園内を走行します。より多くの皆さんに体験いただくため、ゆずりあってご乗車ください。

社会福祉課社会福祉係 ☎64-1827

図 自治体が作成した広報資料

3.4.3 実証調査の成果

以下に実証調査の成果概要を示す。

1) 利用実態

① 利用者数

14日間合計で延べ110名の利用があった。1日平均利用者数は10.0人、乗車定員に占める利用者数は46.2%（運行便限定のネット値）であった（日別利用者数の詳細は次頁に示す）。実験期間中の天気・気温の大きな変動が無かったことから、気象条件と利用者数の明確な関連性は確認できなかった。

鶴海地区の利用者数は61人であり、男性：女性の比率は2：3であった。年齢別に見ると70歳以上が約8割であり、運転免許保有者は約75%であった。

表 利用者数総括

延べ利用者数	110人 ※11/10試乗会の利用者（約350人）は含まず
1日平均利用者数	10.0人
延べ利用者数÷（便数×車両定員）	運行便限定（ネット値）：46.2% 全便（グロス値）：13.1% ※催し開催時及び試乗会の利用者は含まず

表 利用実態

日	曜日	気象条件			利用者数																	イベント	【参考】 視察								
		天気	最高 気温	最低 気温	あさ便(バス停への送迎)							ひる便(自宅への送迎)							地区内 送迎 (※2)												
					7:27 長船	7:37 片上	8:13 片上	8:45 長船	9:28 片上	9:59 吉永	10:20 長船	10:48 青石	10:58 片上	11:48 青石	12:10 長船	13:18 片上	13:43 青石														
2018/10/29	月	晴れ	21.6	8.8	12						6				2				4												
2018/10/30	火	晴れ	19.2	9.1	16					3		1			3				3												
2018/10/31	水	晴れ	17.0	7.2	4						1								2												
2018/11/1	木	晴れ	18.6	6.5	3														3												
2018/11/2	金	晴れ	18.7	6.5	4			1											2											3	
2018/11/3	土	晴れ	19.1	7.8	23																										
2018/11/4	日	晴れ	20.8	9.1	0																										
2018/11/5	月	晴れ	20.5	8.9	4							2																			5
2018/11/6	火	晴れ	22.7	10.0	0																										6
2018/11/7	水	晴れ	21.1	8.8	26																			4					22		
2018/11/8	木	晴れ	20.5	10.0	18																				5			4			5
2018/11/9	金	晴れ	23.7	14.4	0																										1
2018/11/10	土	晴れ	22.3	8.1	0																									約350	
2018/11/11	日	晴れ	19.8	7.4	0																										
実証期間合計					110	0	0	1	0	3	17	0	3	0	1	8	10	18	49				約350	20							

※1:日合計は、11/10のイベント、視察を除く

※2:鶴海地区内の医院、歯医者、商店、郵便局への送迎

:運休

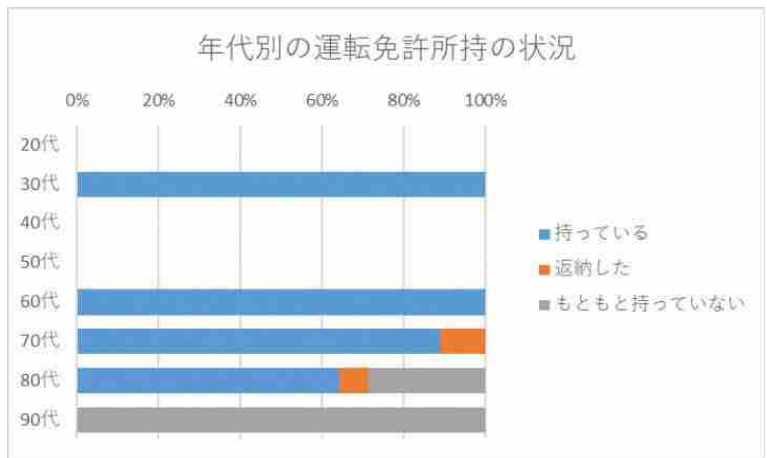
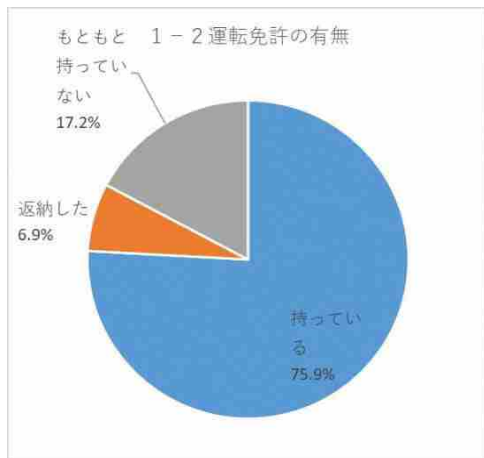
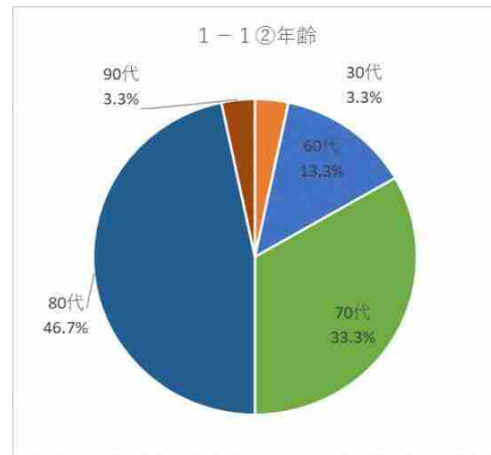
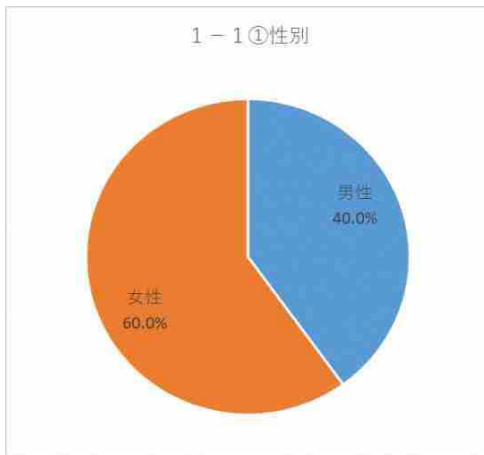


図 利用者の状況（性別、年齢、運転免許の有無）

② 総走行距離・環境負荷軽減効果

期間中総走行距離は38台・kmであり、乗用車との比較によるグリーンスローモビリティ導入に伴うCO2削減効果は8kg-CO2であった。

表 総走行距離・環境負荷軽減効果

期間中総走行距離（回送は含まない）	38台・km
CO2削減効果（乗用車との比較）	8kg-CO2

【環境負荷軽減効果について】

- ・同じ距離の輸送を小型車量（ガソリン車）で代替した場合との比較によりCO2削減効果を計測。
- ・グリーンスローモビリティ運行に伴う電力消費に関連するCO2排出量はゼロとして取扱う。
- ・小型車両のCO2排出原単位については平均旅行速度20km/hの小型に相当する210g-CO2/km・台として設定した（国土技術政策総合研究所資料 第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）」）。

2) 運営者側の声

今回の実証調査では利用者数が予想より大幅に少なく、一部の住民の試乗にとどまった点が悔やまれる。反省点としては、

- ・チラシの全戸配布も1度のみでは効果が薄かった。
- ・区会（町内会）の協力を得るための調整、打ち合わせを十分にしておくべきであった。
- ・稼働の結果から隣接の佐山地区と1台ずつの運行も可能であったかもしれない。（ただし、佐山地区で運転手の確保ができたかどうかは不明。）

といったことが挙げられる。一方、地域の高齢化は進んでいるものの、まだ多くの住民が自ら運転して外出している現状から、地域住民の公共交通への関心が薄いことも利用者が少なかった要因であろうと、運行を担当したNPOは分析している。

また、同NPOからは実験期間中の送迎は無償だが、事業化するならば有償で実施したいという意見があった。また、事業化して需要が増加する場合、今回の実証調査のようなデマンド予約方法（受付窓口は常に理事長が対応）や運行調整方法（前日17時のミーティング）等では継続が難しいと感じているとの意見があった。

また、運転手の感想として、すれ違う住民と自然な挨拶ができて、通常の自動車にはない良さを感じたというメリットが挙げられた。

3) 利用者側の声

車内で会話が弾みコミュニケーションが図れたという意見が多く寄せられた。また、スピードや乗り心地を自動車と比較する意見がなかったことから、一般の車とは異なるグリーンスローモビリティの特性が認識され、受け入れられたものと考えられる。一方で、防寒対策、前日予約制の改善、シートベルトの装着などが利用者アンケートで挙げられた。

イベントでの活用においては、市民ふれあい福祉まつり・こども応援フェスタの半日の運行で約350人の利用があった。ベビーカーを荷台に積んで乗車する家族連れの姿や見知らぬ家族同士で座席を譲り合う姿など、イベントの趣旨にふさわしい風景が随所に見られ、アンケートの結果からも利用者の満足度が非常に高かったことが推察された。

《アンケート結果抜粋》

問：送迎のシステムや車両・利用料金について

前日までの電話予約は半数以上が便利と回答したものの、当日の急な利用や予約のわずらわしさの解消を求める声があった。

乗り心地については快適との回答が多く、特に今回の運行期間が天候に恵まれたことで開放的な車両の特性ともマッチして概ね好評であった。

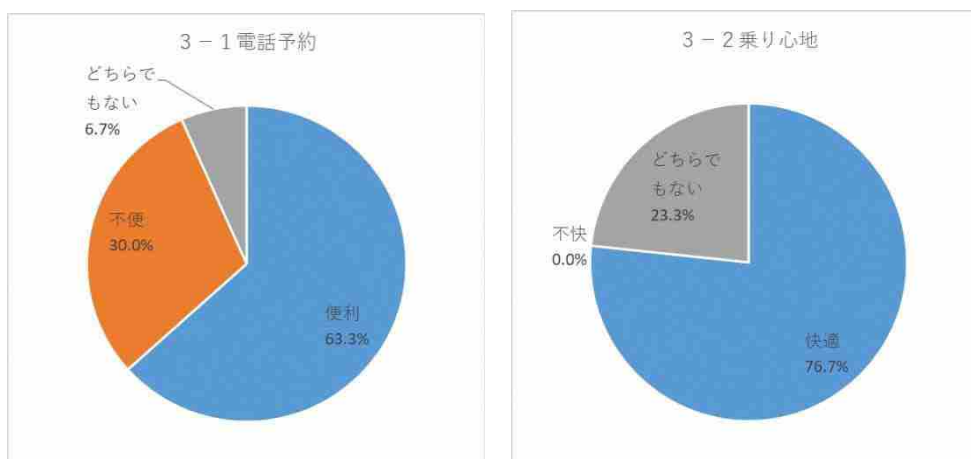


図 送迎のシステムや車両・利用料金について

問：今後の利用意向

今後の運行については、有料でも続けてほしいという利用者が8割を超える結果となった。また、有料の場合の適切な金額としては、100円という回答が7割を超えた。

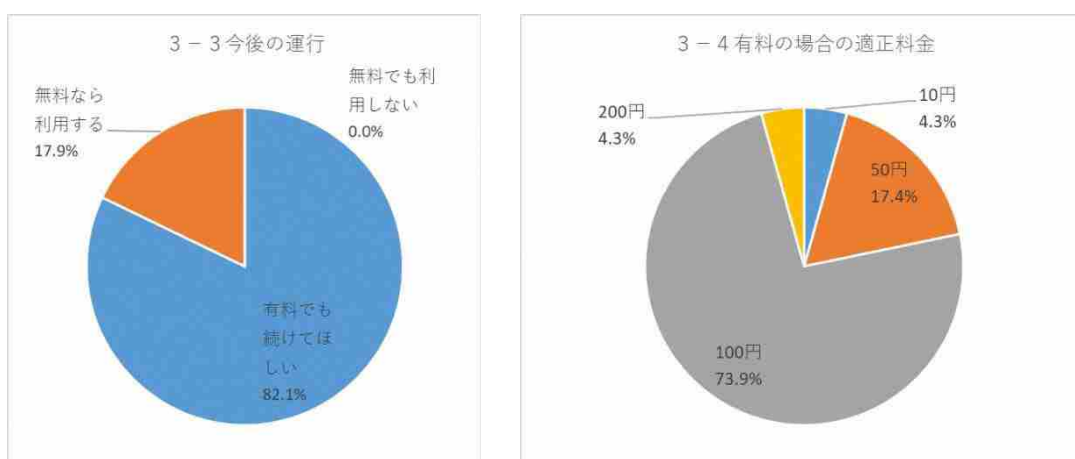


図 今後の利用意向

問：導入された場合の外出の頻度

グリーンスローモビリティが導入された場合、お出かけの頻度が今より増える、あるいは少しは増えると思うという回答が約8割であったことから、外出機会の少ない高齢者の外出意欲を引き出すために、グリーンスローモビリティの活用が大いに期待される。

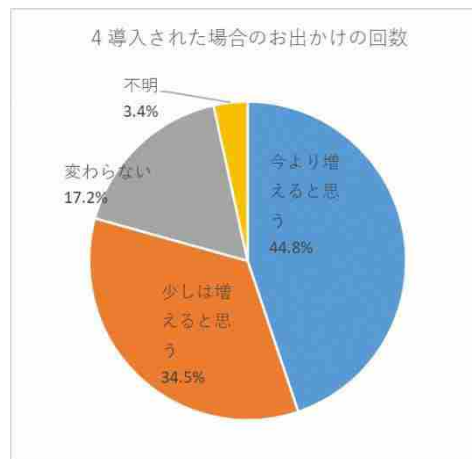


図 導入された場合のお出かけの回数

問：グリーンスローモビリティに乗った感想／活用できると思う場所（イベント開催時）

試乗した感想は、「便利」、「心地よい」、「景色を楽しめた」、「面白い」などが多く、「スピードが遅い」、「暑そう・寒そう」といったマイナスイメージの回答は少なかった。また、観光地や今回のような公園内の移動だけでなく、バス停までの送迎や近場の買い物、通院の送迎にも活用できそうという声が聞かれた。

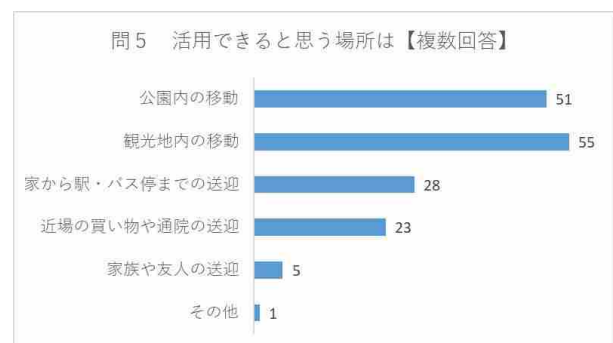
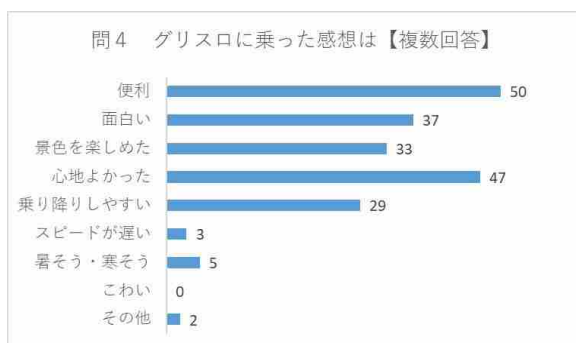


図 グリーンスローモビリティに乗った感想／活用できると思う場所

3.5 福山市における実証調査

3.5.1 実施準備

1) 地域会議の実施

以下の通り全4回開催した。以降に各回の議事内容を掲載する。

表 地域会議の実施状況

	日時・ 場所	議事内容
第1回	2018/9/21 9:30-11:30 福山市役所	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決すべき地域課題 ・ 運行ルート・サービス内容等 ・ 関係機関との調整状況 ・ 利用対象者への周知・広報計画 ・ 実証期間 ・ 効果検証の方法 ・ 使用車両と充電設備 ・ 実証までのスケジュール 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行計画 ・ 関係機関との調整（運輸支局、交通管理者、道路管理者、地域関係者等） ・ 周知広報の実施内容 ・ 実証期間 ・ 効果検証の具体的内容・方法 ・ 車両保管場所、充電設備の確保方法
第2回	2018/9/28 10:00-11:00 福山市役所 〔現場確認〕 2018/9/28 13:30-17:00 福山市鞆の浦 現場	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 庁内調整会議 (9/21会議と同様に内容を市庁内連絡会議で確認、調整) ◆ 現地確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運行ルート、乗降場所の確認 ・ 車両保管場所、充電設備設置方法等の確認 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> (9/21会議と同じ内容)
第3回	2018/11/13 15:00-16:30 福山市役所	【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 庁内調整会議と合同開催 (9/21会議と同じ内容（詳細計画）) 【次回までの調整・準備事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果計測（日報記録）の準備 ・ 運転者（講習受講者）の特定

	日時・ 場所	議事内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始前日（運転者講習、地元乗り方教室）、当日（出発式、マスコミ対応）の詳細 ・ 実施体制（責任者・連絡先）の詳細
第4回	2019/1/17 15:30-17:00 福山市役所	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証調査結果の共有（利用者数、アンケート結果） ・ 地域課題解決に対する有効性 ・ 実証調査で確認された課題 ・ 事業化に向けた展望と課題 ・ 次年度以降の予定

2) 実施計画書の作成

作成した実施計画書を次頁以降に掲載する。

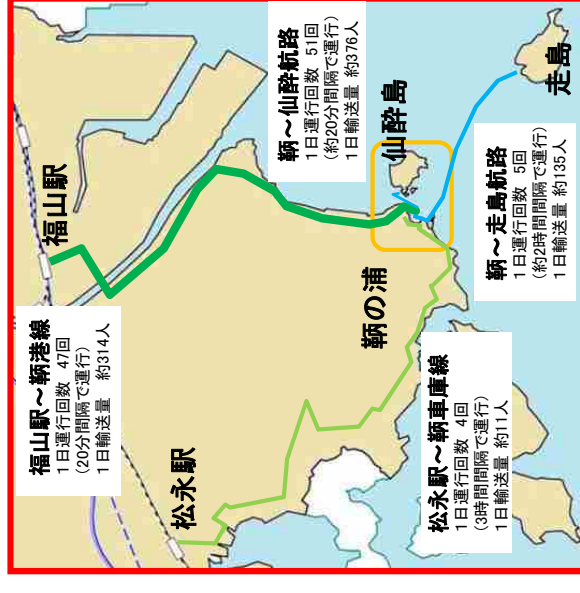
平成30年度
グリーンズローモビリティの活用検討に向けた
実証調査支援事業
実施計画書

実証地域	広島県福山市鞆町(鞆の浦)
事業名称	「しおまち(潮待ち)モビリティ」実証事業 ～国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ～

【1 実証調査の背景・目的】

1. 地域の概況や地域交通の状況

- 1) 実証地域の概要、都市特性や道路状況
 - 100万本のばらのまち 福山市は、瀬戸内海の中央、広島県東部の約47万人の中核市。日本一新幹線駅に近い「福山城」や『崖の上のポニョ』の舞台「鞆の浦」など観光資源が豊富。鉄鋼(JFEスチール)やデニムなどのものづくり産業が発展する、備後圏域の経済文化の拠点。
 - 実証調査予定地「鞆の浦」は、日本初の国立公園「瀬戸内海国立公園」の一部に指定され、江戸時代から「潮待ち」の港として栄え、歴史的な建造物がまとまって残る全国的にも珍しい景勝地。**国内随一の近世港町**をテーマとしたストーリーが**日本遺産に認定**(平成30年5月)され、ユネスコ「世界の記憶」(平成29年10月登録)、国の重要伝統的建造物群保存地区(平成29年11月選定)とあわせた三冠は全国唯一。その歴史・文化・自然は国内外から高い評価を受け、**観光客は年間213万人と増加傾向**。
※ TBS「流星ワゴン」、ハリウッド映画「ウルヴァリン：SAMURAI」など、映画、ドラマのロケ地。
 - 一方で、「鞆の浦」の人口はここ30年で半分の約4000人に減少、**高齢化率47.2%**。**古くからの地割をそのまま残す狭隘な生活道路は、三叉路やクランク、急な坂道が多い**。広島県による埋立架橋事業(湾内バイパス道路)が計画されていたが、山側トンネルを含む総合対策へと方針変更。**町中の交通量抑制**など交通処理対策は、**地域住民の悲願**。
- 2) 地域の公共交通の充足状況
 - 同地域には、鞆鉄道(株)が運行するバスが2路線(福山駅～鞆港、松永駅～鞆車庫)とタクシー会社の営業所が2社あり、日常的な移動や観光交通を担っている。しかし、地域内で**バスやタクシーが通行できる道路は限定されており、バスの便数も少ない**(松永駅～鞆車庫線)。
 - ほかに、鞆の浦から仙酔島(観光地)までは、市営の渡船(平成いろは丸)が20分毎に運航。はしりじま
 - 走島(広島県離島振興計画における離島地域、人口507人、高齢化率67.9%)までは、連絡フェリー(鞆港～走島)が、1日に5往復(所要時間25分)運行。島内には公共交通なし。



【1 実証調査の背景・目的】

2. 地域課題と解決に向けた方向性

- 1) 実証地域が抱える交通課題
 - 「車の浦」は高齢化率が47.2%と高く、町中には古くからの狭路やクランク、急な坂道が多く、路線バスの運行が難しく便数も少ないため、**高齢者のおでかけや通院など暮らしを支える移動手段の確保**が課題。
 - 近年の観光客の増加に伴い、町中に通過交通や観光交通が流入し、地域住民の生活や緊急車両の通行に支障をきたしているため、**流入交通の抑制とあわせ、高台にある絶景ポイントへの観光客の案内**が課題。
- 2) 上記課題を解決するための方向性
 - 「安全に安心して通れる生活道を含む交通システムの構築」「**町中に流入する交通量の抑制**」「**観光客の散策環境の整備**」「**高齢者等の外出・買い物支援**」など、地域と行政が協働で取り組む施策の方向性を「**軋まちづくりビジョン（平成30年3月）**」において位置づけている。
- 3) 課題解決に当たり、グリーンズローモビリティの優位性
 - ①「**小型 Small**」: **狭路やクランク、急な坂道が多い町並**を快走でき、高台の観光施設にもアクセスできる
 - ②「**低速 Slow**」: **スローライフな車の生活スタイル**に融け込み、石畳の古い町並をゆっくりと楽しむことができる
 - ③「**安全 Safety**」: **高齢者や観光客が多い町中を安全に移動**でき、歩行者や自転車と共存できる
 - ④「**開放感 Open**」: **低床車両で高齢者が乗り降りしやすく、港町の音や潮風の香りを感じながら移動**できる
 - ⑤「**環境性 Green**」: **マイカーからの転換により流入交通を抑制し、CO²を削減**することができる
- 4) 上位関連計画におけるグリーンズローモビリティの位置づけ
 - 「**福山・笠岡地域公共交通網形成計画（平成29年3月）**」の基本方針に「様々な交通の連携強化による効率的で利用しやすい地域公共交通網の構築」などを掲げており、今年度策定の「**福山・笠岡地域公共交通再編実施計画**」でも、グリーンズローモビリティを**地域公共交通ネットワークの支線交通の一つに位置づける**予定。
 - 「**福山市地球温暖化対策実行計画（平成23年3月）**」の基本政策のひとつ「**エネルギーの効率的な利用の促進**」において「**電気自動車などの次世代自動車の利用環境整備**」に取り組む計画。



【2 実証調査の概要】

「しおまち（潮待ち）モビリティ」実証事業
～国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ～

3. 実証の全体像

1) グリーンスロモビリティの活用により目指す将来像

① コンセプト：「しおまち（潮待ち）モビリティ」

国内随一の近世港町である「鞆の浦」の歴史・文化・自然と、ここに住む人々の暮らしが織りなす独特の風情や景観は多くの人々に愛され続けている。こうした“ここに住む人々の暮らし”と“訪れる人たちへのおもてなし”をゆっくりとつむぐ。

② 実証調査の概要

A: 暮らしおたすけルート（地域住民の移動支援）

- ・ 定時定路線で地域内を乗合運行（バス事業者運行）
- ・ 路線バスの入れない狭路を運行し、病院や高齢者サロン等を経由
- ・ 便数の多いバス停と船乗り場（走島行き）に接続

B: 絶景おもてなしルート（観光客の散策支援）

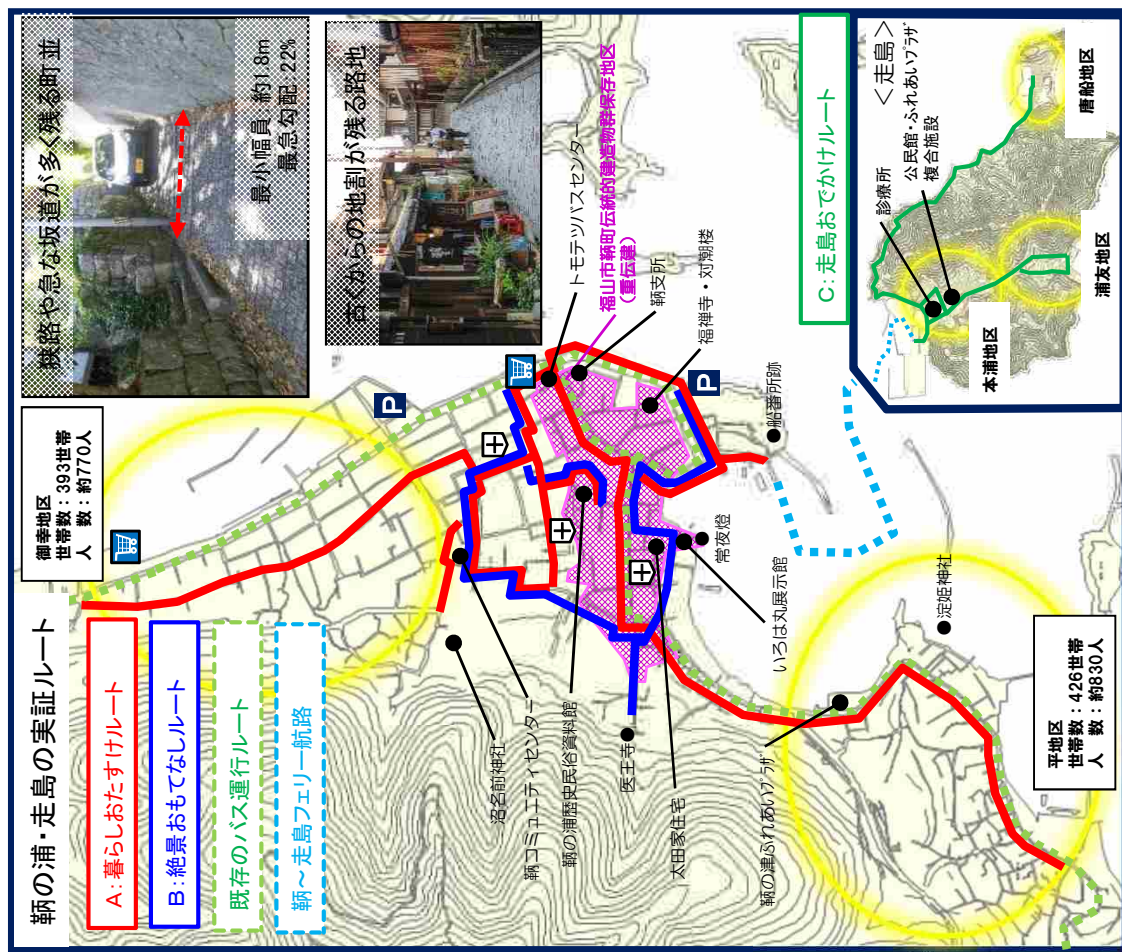
- ・ 不定期で利用客に応じた乗合運行など（タクシー事業者運行）
- ・ 観光ガイドを添乗させて、常夜燈などの主な観光施設を1時間程度で周遊
- ・ 駐車場（観光客用）、渡船場（仙酔島行き）、便数の多いバス停に接続

C: 走島おでかけルート（高齢者の外出買物支援）

- ・ 走島（ガソリンスタンドがない離島）で実施している高齢者のおでかけ支援事業（福祉事業）の車両（軽自動車）をグリーンスロモビリティに転換
- ・ 地域の運転ボランティアにより、概ね75歳以上の高齢者の外出や買物を支援

③ 目指す将来像（交通課題の解決）

- 人口減少・高齢化が著しく進み、道幅が狭く急な坂道で、バスも入れなかった地域で地域住民の足として活用⇒**地域コミュニティの活性化、高齢者の福祉増進**
- 日本遺産の認定などを受け、観光地のモビリティとして散策環境の充実に活用⇒**観光客の回遊性や滞在時間の拡大、地域ブランディングの創出**
- 環境負荷の少ない低炭素型モビリティの普及、通過交通や流入交通の抑制⇒**「瀬戸内海国立公園」の自然環境、歴史文化や住民の暮らしとの調和**



【2 実証調査の概要】

「しおまち(潮待ち)モビリティ」実証事業
 ~ 国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ ~

4. 実証により実現を目指す地域交通の将来像

- 「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」の基本方針
 「様々な交通の連携強化による効率的で利用しやすい地域公共交通網の構築」
 「多様な運行方法による過疎化・高齢化に対応した移動手段の見直し」
 ⇒ グリーンスローモビリティを活用する方針
- 鞆の浦での実証事業をもとに、**グリーンスローモビリティを既存のバス路線、鉄道、フェリー等と組み合わせ、地域公共交通ネットワークの支線交通の一つとして、市内他地域への展開を検討**(以下、具体例)

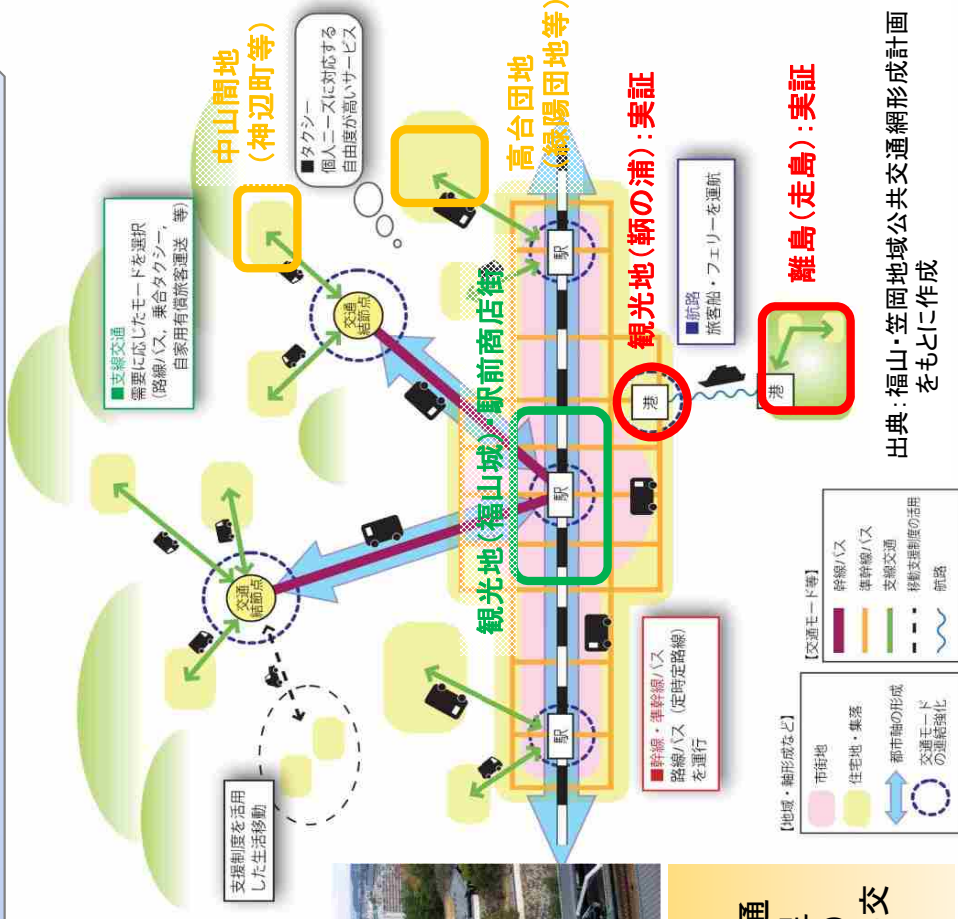
(**観光地・駅周辺商店街での「ちよこつと輸送」としての活用**)
 築城400年を迎える福山城は、観光施設(日本一新幹線駅に近い城)であるが、長い階段や急な坂がある。また、駅周辺商店街は広範囲に広がっている。このため、高齢者などの移動手段としてグリーンスローモビリティを活用し、観光地としての回遊性向上、駅周辺のにぎわい創出につなげる。(来年度、福山城公園において、群馬大
 学と連携し、**グリーンスローモビリティ自動車実験**を検討中)



(**中山間地・高台団地での「地域住民の足」としての活用**)
 中山間地や高台団地(オールドニュータウン)等の公共交通空白地では、高齢化が進み、地域の足を担うドライバー不足に悩んでいる。こうした地域で、地域住民(運転ボランティア)が主体となってグリーンスローモビリティを活用し、地域公共交通網の補完や高齢者のおでかけ支援を行う。



高齢者がシェアカーを利用



出典:福山・笠岡地域公共交通網形成計画
 をもとに作成

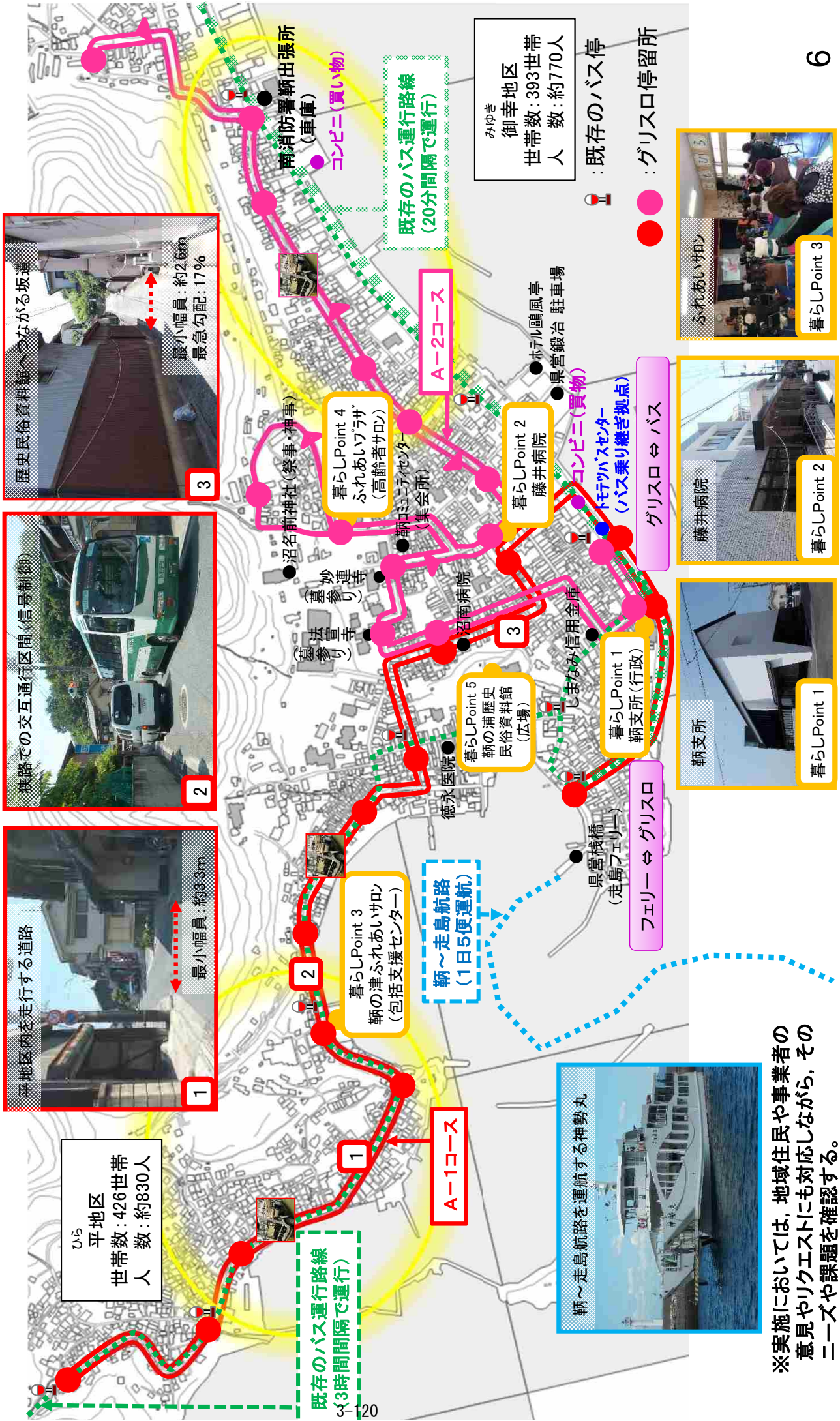
- 1) 「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」に掲げる、地域公共交通の目指すべき将来像(地域公共交通ビジョン)
 「誰もが移動しやすく、人の交流が活発になる**地域公共交通の実現**」を実現。
- 2) 「第2次福山市観光振興ビジョン」のアクションプランに掲げる、受け入れ環境の整備、充実として、
 例えば、電車→バス→グリーンスローモビリティといったような「**二次交通の整備、充実**」を実現
- 3) 「福山市地球温暖化対策実行計画」の基本政策のひとつ「エネルギーの効率的な利用の促進」のため、
 「**電気自動車などの次世代自動車の利用環境整備**」を実現。

上位・関連計画の
 施策方針を実現

【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】

A【暮らしおたすけルート】



※実施においては、地域住民や事業者の意見やリクエストにも対応しながら、そのニーズや課題を確認する。

【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】

B【絶景おもてなしルート】



1

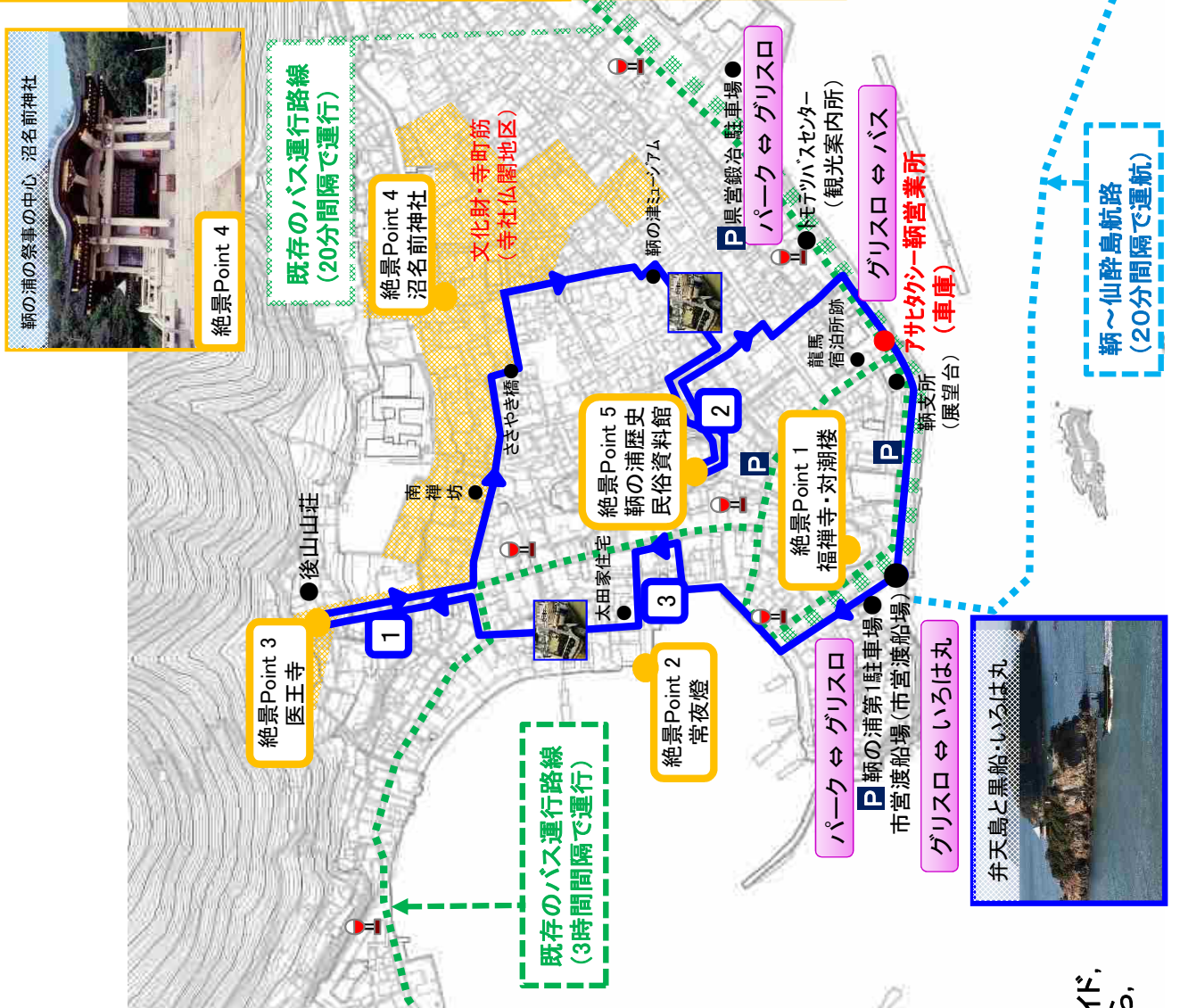


2



3

※実施においては、地域住民、観光ガイド、観光客等のリクエストにも対応しながら、そのニーズや課題を確認する。



【3 実証調査の詳細】

【3.1 運用エリア】



※実証においては、地域住民やボランティア
団体の意見やリクエストにも対応しながら、
そのニーズや課題を確認する。

C【走島おでかけルート】

【3 実証調査の詳細】

【3.2 運用方法】

1. 運行概要(その1)

	A【暮らしおたすけルート】	B【絶景おもてなしルート】	C【走島おでかけルート】
運行期間	A-1:平成30年11月16日(金)～22日(木) A-2:平成30年11月23日(金)～29日(木)	平成30年11月16日(金)～29日(木)	平成30年11月19日(月)
ルート長	A-1:約 5.9 km、A-2:約 5.1 km	約2.4km	C-1:約3.0km、C-2:約5.4km
運行台数	7人乗りゴルフカート 1台	7人乗りゴルフカート 1台 ※観光ガイド添乗あり	7人乗りゴルフカート 1台 ※Bの車両を回す
運行時間帯 (ダイヤは11頁の通り)	8:30～10:30 2便 12:30～13:30 1便 15:00～17:00 2便 ※路線バスの運行時間と重複しない 時間帯に運行	9:00～17:00 (充電, 運転手休憩等を含む)	8:00～16:00 3便程度 (充電, 運転手休憩等を含む)
運行形態	・バス事業者(靛鉄道株)運行 ・定時定路線運行	・タクシー事業者(アサヒタクシー株)運行 ・エリア内を不定期運行 ①各観光スポット間の乗合運行 ②デマンド型のタクシー(乗用)運行	・地域ボランティア(ひまわり会)が運行 ・高齢者おでかけ支援事業(福祉事業)の車両を代替
料金	無償(許可等を要しない運送の形態で運行)	無償(許可等を要しない運送の形態で運行)	無償(許可等を要しない運送の形態で運行)
運転手	バス事業者からの役務提供 (二種免許運転手により安全に配慮)	タクシー事業者からの役務提供 (二種免許運転手により安全に配慮)	地元の運転ボランティア(高齢者)
車庫の設置場所	福山地区消防組合南消防署出張所	アサヒタクシー 鞆営業所	公民館・ふれあいプラザ複合施設 ※当日, フェリーで搬入・搬出の予定

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

1. 運行概要(その2)

	A【暮らしおたすけルート】	B【絶景おもてなしルート】	C【走島おでかけルート】
利用者 確保方法	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長連合会と連携し、鞆地区に実証実験実施前に広報チラシの全戸配布(約1,660世帯)、ポスターの掲示、各町内会長への周知の徹底 ・「広報ふくやま」や新聞(3社)への掲載 ・町内会と連携し、グリーンズローモビリティ乗り方教室(お披露目)の実施 ・実証運行初日に出発式の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・福山駅構内にある観光案内所や鞆町内にある観光情報センターなどの集客施設などでチラシやポスター、ポップなどによる広告宣伝 ・地元の観光ガイド(NPO法人鞆の浦振興事業団)と連携し、グリーンズローモビリティ利用の働きかけ ・福山市公式FacebookやInstagramなどのSNSなどの各種メディアを活用した情報発信の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・走島学区まちづくり推進委員会と連携し、広報チラシを高齢者お出かけ支援事業の関係者および利用者(約50人)に配布し、周知の徹底 ・走島フェリーの運航時刻に合わせたA-1【暮らしおたすけルート(平方面)】の運行時刻とすることで、走島住民の利用促進
効果検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や運行者(鞆鉄道)などに対し、料金設定や利用頻度、課題などに関してアンケート調査を実施 ・車体にGPSシステムを搭載し、走行経路の記録・分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客や運行者(アサヒタクシー)などに対し、料金設定や乗り心地などの感想、課題などに関してアンケート調査を実施 ・車体にGPSシステムを搭載し、走行経路の記録・分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や運行者(運転ボランティア)などに対し、乗り心地や課題などに関してアンケート調査を実施。 ・車体にGPSシステムを搭載し、走行経路の記録・分析を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・実証調査は無料運行するが、本格運行は有料運行とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実証調査は無料運行するが、本格運行は有料運行とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで通り、無料運行(福祉事業)とする。

【3 実証調査の詳細】 【3.2 運用方法】

2. 運行ダイヤ (A 暮らしおたすけルート)

A-1 平方面

瀬港	瀬支所	バスセンター	藤井病院	沼南医院	徳永医院 付近	江之浦元町 会館	JA瀬出張所 付近	瀬の津ふれあいサロン	淀媛会館	平三会館	荒神社前	平三会館	平二会館	淀媛会館	平二会館	江之浦元町 会館	JA瀬出張所 付近	瀬の津ふれあいサロン	淀媛会館	平三会館	荒神社前	平三会館	平二会館	平三会館	JA瀬出張所 付近	瀬の津ふれあいサロン	淀媛会館	平二会館	平三会館	JA瀬出張所 付近	江之浦元町 会館	徳永医院 付近	沼南医院	藤井病院	バスセンター	瀬支所	瀬港
8:30	8:32	8:33	8:35	8:37	8:39	8:40	8:41	8:41	8:43	8:45	8:47	8:45	8:45	8:43	8:45	8:40	8:41	8:41	8:43	8:45	9:00	9:02	9:02	9:02	9:02	9:02	9:04	9:06	9:06	9:06	9:07	9:08	9:10	9:12	9:14	9:15	9:17
9:40	9:42	9:43	9:45	9:47	9:49	9:50	9:51	9:51	9:53	9:55	9:57	9:55	9:55	9:53	9:55	9:50	9:51	9:51	9:53	9:55	10:10	10:12	10:10	10:12	10:12	10:12	10:14	10:16	10:16	10:17	10:18	10:20	10:22	10:24	10:25	10:27	
13:10	13:12	13:13	13:15	13:17	13:19	13:20	13:21	13:21	13:23	13:25	13:27	13:25	13:25	13:23	13:25	13:20	13:21	13:21	13:23	13:25	13:40	13:42	13:40	13:42	13:42	13:42	13:44	13:46	13:46	13:47	13:48	13:50	13:52	13:54	13:55	13:57	
15:00	15:02	15:03	15:05	15:07	15:09	15:10	15:11	15:11	15:13	15:15	15:17	15:15	15:15	15:13	15:15	15:10	15:11	15:11	15:13	15:15	15:30	15:32	15:30	15:32	15:32	15:32	15:34	15:36	15:37	15:38	15:40	15:42	15:44	15:45	15:47		
16:15	16:17	16:18	16:20	16:22	16:24	16:25	16:26	16:26	16:28	16:30	16:32	16:30	16:30	16:28	16:30	16:25	16:26	16:26	16:28	16:30	16:43	16:45	16:43	16:45	16:45	16:47	16:47	16:46	16:50	16:51	16:53	16:55	16:57	16:58	17:00		

A-2 御幸方面

バスセンター	瀬支所	沼南医院	法宣寺	駒コミユニティセンター	藤井病院 付近	鍛冶町 会館	原町内 会館	安国寺 前	えびす神社前	南消防署 出張所前	市営瀬中島 住宅付近	南消防署 出張所前	えびす神社前	安国寺 前	原町内 会館	鍛冶町 会館	藤井病院 付近	駒コミユニティセンター	法宣寺	沼南医院	バスセンター
8:30	8:31	8:33	8:34	8:35	8:36	8:37	8:38	8:39	8:41	8:42	8:44	8:48	8:41	8:39	8:38	8:37	8:36	8:35	8:34	8:33	9:10
9:30	9:31	9:33	9:34	9:35	9:36	9:37	9:38	9:39	9:41	9:42	9:44	9:48	9:41	9:39	9:38	9:37	9:36	9:35	9:34	9:33	9:08
12:30	12:31	12:33	12:34	12:35	12:36	12:37	12:38	12:39	12:41	12:42	12:44	12:48	12:41	12:39	12:38	12:37	12:36	12:35	12:34	12:33	10:10
15:00	15:01	15:03	15:04	15:05	15:06	15:07	15:08	15:09	15:11	15:12	15:14	15:18	15:11	15:09	15:08	15:07	15:06	15:05	15:04	15:03	13:10
16:00	16:01	16:03	16:04	16:05	16:06	16:07	16:08	16:09	16:11	16:12	16:14	16:18	16:11	16:09	16:08	16:07	16:06	16:05	16:04	16:03	16:40
																					9:08
																					10:08
																					10:06
																					13:08
																					15:38
																					16:38

【3 実証調査の詳細】 【3.3 実施体制】

○ 実施体制(鞆の浦「しおまち(潮待ち)モビリティ」事業推進チームを設置予定)

団体名	役割
福山市	実証調査責任者, 関係機関との連絡調整, アンケート調査実施
NPO法人 鞆の浦振興事業団	観光ガイドの輩出
公益社団法人 福山観光コンベンション協会	情報発信の支援, 観光イベントとの連携
鞆鉄道株式会社 (会長が福山商工会議所会頭 兼 観光コンベンション協会会長)	運行主体, 事業化の検証, 広報活動
アサヒタクシー株式会社 (社長が広島県タクシー協会副会長 兼 東部支部長)	運行主体, 事業化の検証, 広報活動

○ 地方公共団体内での役割分担

所属名・担当者名	役割
都市交通課 (課員9名の内, 5名が実証調査を担当)	実証調査責任者, アンケート調査実施, 中国運輸局・福山西警察署・交通事業者(バス・タクシー)等との調整
情報発信課	SNS等の各種メディアを活用した情報発信
観光課	観光事業者等との調整
企画政策課	自動運転技術(群馬大学と実証実験で連携中)など関連事業との調整
文化振興課	【日本遺産魅力発信事業】など関連事業との調整
都市計画課	鞆地区の地域住民(町内会連合会)や広島県との調整
土木管理課	道路管理者として協議

【3 実証調査の詳細】 【3.4 関係機関との調整状況】

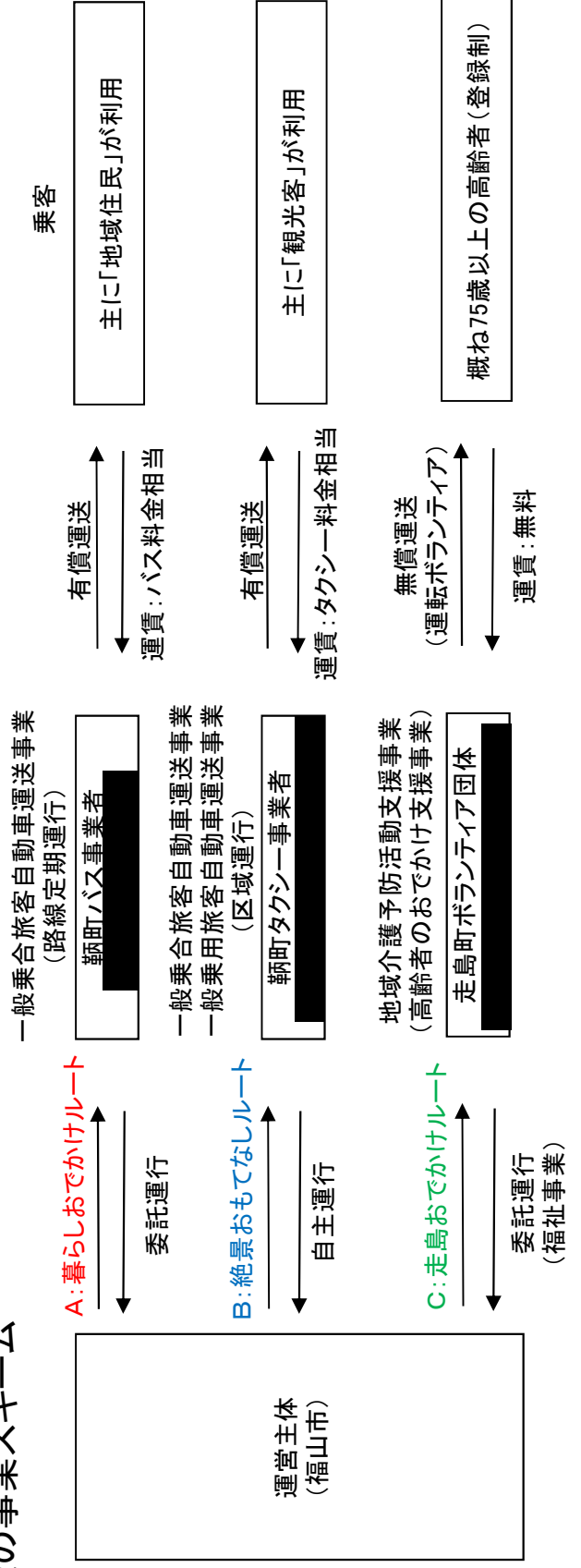
項目	団体名	調整状況	備考	
公共交通機関	バス	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	事業化の意向が強い	
	タクシー	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	事業化の意向が強い	
行政	道路管理者	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	県道関係の調整	
	道路管理者	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	市道関係の調整	
その他	地方運輸局・支局	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	事業化後の運行形態について協議済み	
	警察	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	特に、安全面や交通への影響について協議済み	
	観光協会	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	観光用の音声ガイド機器の提供	
	福祉団体等	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	来年度の車両更新において採用を検討	
	地域住民	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	地域へのチラシ配布や声かけなどの協力	
	その他	①同意済 ②相談中 ③今後実施 ④該当機関なし/今回は関係しない	観光ボランティアガイドの添乗	
		NPO法人 鞆の浦振興事業団		
		走島町ひまわり会		
		鞆町内会連合会		
		公益社団法人福山観光コンベンション協会		

【3 実証調査の詳細】 【3.5 事業化に向けた検討】

○ 構想の実現に向けた中長期のロードマップ

実施内容	平成30年度	平成31年度			平成32年度	……
		第1四半期	第2四半期	第3四半期		
グリーンズローモビリティ実証実験(鞆の浦)の実施と評価分析						
車両の購入、評価分析を受けて地元や関係各所と調整						
有料での実証運行調査(長期:1~2カ月)						
関係機関(地域公共交通会議・運輸局等)との最終調整						
鞆の浦地域でのグリーンズローモビリティ本格運行						
他の地域(福山城など)での事業展開に向けた協議・調整・導入						

○ 事業化後の事業スキーム



【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

鞆の浦の地域ブランディングとして、グリーンズروسローモビリティを活用

様々なデザインが施された、みんなに愛されるグリーンズروسローモビリティ

A案：地域に愛された鞆軽便鉄道「ラッキョ自動車」

- 「ラッキョ自動車」とは、現在の鞆鉄道株式会社(バス事業者)の前身である鞆軽便鉄道株式会社(明治43年～大正15年)が、福山駅から鞆の浦まで運行していた、煙突がラッキョウに似ていることから地域の方々から親しまれて呼ばれていた自動車。
- グリーンズروسローモビリティを本格導入する際に、車両のデザインに「ラッキョ自動車」をモチーフとすることで、地域住民に親しみ、愛されるモビリティになることが期待できる。

⇒ 「暮らしおたすけルート(地域住民の移動支援)」を行う車両のモチーフ



B案：鞆の浦を全国区に広めた「崖の上のポニョ」

- 2008年に公開された「崖の上のポニョ」は、宮崎駿監督が鞆の浦に滞在して構想が練られ、映画に出てくる数々のシーンが、鞆の浦をイメージさせることから、鞆の浦を一躍全国区に広めた。
- その舞台である鞆の浦の町中を走るグリーンズروسローモビリティに、ポニョが乗船していたおもちゃの船など作品をイメージさせるデザインにすることで、映画の舞台を巡る楽しみが広がり、観光客に人気のモビリティになることが期待できる。



⇒ 「絶景おもてなしルート(観光客の散策支援)」を行う車両のモチーフ



魅力的な地域資源をモチーフにしたグリーンズروسローモビリティを
「地域の象徴」として回遊走行させることで、地域ブランディングとして活用

【3 実証調査の詳細】 【3.6 その他(※記載は任意)】

西日本豪雨災害における「鞆の浦」周辺の被災状況と観光客への影響

○ 西日本豪雨では、福山市では、観測史上1位となる雨量を記録し、**広島県内で最大の約2000haに及ぶ浸水被害**、約1200戸の床上浸水、多くのため池の決壊、大規模な山腹崩壊など、死傷者を出す甚大な被害が発生。

○ 鞆の浦においても、鞆の浦につながる県道福山鞆線や観光道路であるグリーンライン(県道後山公園洗谷線)などの周辺道路で、土砂崩れや道路陥没などが発生し、一時的に鞆の浦への進入路が遮断。現在は、道路の復旧作業に着手し、生活幹線道路は応急復旧完了済(実証調査エリアへの影響はない)。

○ 鞆の浦の観光施設の被災は免れたものの、周辺地域での鉄道や高速道路などのアクセスルートが被災を受けたこともあり、風評被害により**宿泊施設はキャンセルが相次ぎ、市営渡船(平成いろは丸)の利用者は例年の2/3程度**など、観光シーズンに大きな影響。

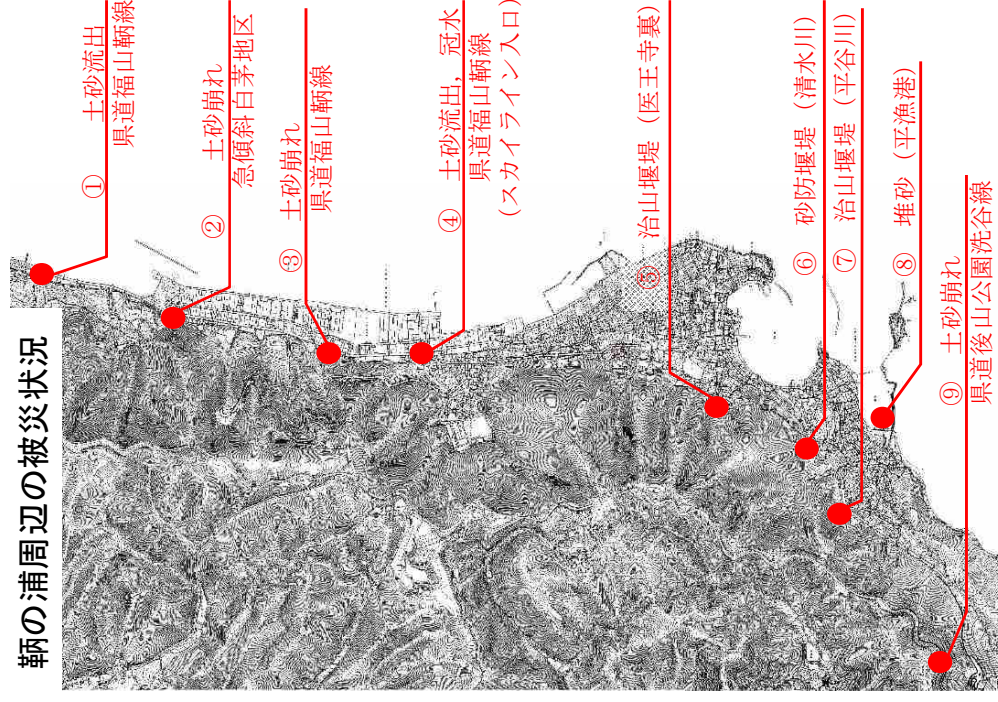
市内山手町付近の浸水被害



県道福山鞆幹線の被害(③付近)



鞆の浦周辺の被災状況



今回の「グリーンズروسロモビリティ実証事業」を最大限に活かし、「鞆の浦」の新たな観光ツールとして積極的に情報発信し、**西日本豪雨災害の風評被害を早期に呼び戻すひとつのきっかけ**としたい。

3.5.2 実証調査の実施

1) 実証調査概要

実証調査については以下の通り実施した。

表 実証調査概要

■調査概要				
		A:暮らしおたすけルート (1号車)	B:絶景おもてなしルート (2号車)	C:走島おでかけルート (2号車)
概要	実施期間	[A-1(平地区)] 11月16日(金)~22日(木) [A-2(御幸地区)] 11月23日(金)~29日(木)	11月16日(金)~18日(日)、 20日(火)~29日(木)	11月19日(月)
	運行形態	定時定路線運行	エリア内の不定期運行 ・観光スポット間の乗合運行 ・デマンド型のタクシー運行	既存の高齢者お出かけ支援 事業の一環(車両を代替)
	運行本数、 運行時刻	5便/日 ※路線バスと重複しない時間帯 に運行	9:00~17:00 ※利用者の要望に応じて運行 ※充電、運転手休憩等を含む	8:00~16:00 ※利用者の要望に応じて運行 ※充電、運転手休憩等を含む
導入車両	ヤマハゴルフカート(7人乗り) 2台			
<p>A-1:暮らしおたすけルート (平地区) A-2:暮らしおたすけルート (御幸地区) B:絶景おもてなしルート (御幸地区) C:走島おでかけルート (C-1コース, C-2コース) C-1コース: 本浦地区, 浦友地区 C-2コース: 本浦地区, 唐船地区</p>				
■役割分担				
調査主体	福山市建設局都市交通課			
運行主体	A: 靱鉄道(株)、B: アサヒタクシー(株)、C: 地元の運転ボランティア(高齢者)			
その他	観光ガイド: 福山観光コンベンション協会, NPO法人靱の浦振興事業団			

2) 実証調査の様子



図 実証調査の様子

3) 広報資料

利用者確保のための広報資料については以下の通り作成した。

観光客用

「しおまち（瀬待ち）モビリティ」
実証運行のお知らせ

グリーンスローモビリティ？ に乗って
「鞆の浦」の観光スポットをめぐるませんか！

実施期間：11月16日（金）～29日（木）

運行時間：9:00～17:00
※不定期に運行します

料 金：無料 ※上記期間中のみ

定 員：6名（運転手を除く）
※地元の方も利用できます



グリーンスローモビリティって何？
時速20km未満で、公道を走る、4人乗以上の電動モビリティ
日本遺産に認定された歴史と文化が息づく町をゆつくり走ります



▲ 医王寺からの眺め



▶ 常夜燈と雁木



常夜燈を始め、鞆の浦の
絶景スポットを巡ります！

▶ 対瀬楼から見た弁天島と仙酔島

＜お問い合わせ先＞ 福山市都市交通課 TEL (084) 928-1161

しおまち（瀬待ち）モビリティ 観光コース



1
じょうやどう
常夜燈



2
いおうじ
医王寺



3
めなくまじんじや
沼名前神社



市営渡船場、観光情報センター、各観光ポイント付近で自由に乗り降りできます



5
ふくぜんじ・たいちょうろう
福禅寺・対瀬楼



4
ふくやまじどものうられしんすくしりょうかん
福山市鞆の浦歴史民俗資料館

図 自治体が作成した広報資料

3.5.3 実証調査の成果

以下に実証調査の成果概要を示す。

1) 利用実態

① 利用者数

14日間合計で全ルート合計延べ1,071名の利用があった。1日平均利用者数は76.5人、乗車定員に占める利用者数は、暮らしおたすけルート：91.8%、絶景おもてなしルート：59.3%、走島おでかけルート：42.3%であった（日別利用者数の詳細は次頁に示す）。実験期間中の天気・気温の大きな変動が無かったことから、気象条件と利用者数の明確な関連性は確認できなかった。

利用者数の目標として、当初は300人程度を見込んでいたが、好評で予想を上回る利用があったため、途中から目標1,000人に上方修正した。1号車：暮らしおたすけルートの利用者は高齢者の女性が多く、60歳以上が78%、女性が78%を占める。中でも、70歳以上の女性が多く全体の50%を占める。2号車：絶景おもてなしルートは、20～70歳代の幅広い年代で様に利用され、市外に居住する利用者も87%と多く、観光客に幅広く利用されたものと考えられる。

表 利用者数総括

延べ利用者数	1,071人 ※暮らしおたすけルート 369人 ※絶景おもてなしルート 669人 ※走島おでかけルート 33人
1日平均利用者数	76.5人 ※暮らしおたすけルート 26.3人 ※絶景おもてなしルート 51.5人 ※走島おでかけルート 33人（1日のみ運行）
延べ利用者数÷（便数×車両定員）	暮らしおたすけルート：91.8% 絶景おもてなしルート：59.3% 走島おでかけルート：42.3%

表 利用実態

日にち	気象条件		利用者数														総計			
	天気	最高気温	最低気温	平方面							御幸方面							走島	2号車 絶景 おもてな しルート	
				8:30発	9:40発	13:10発	15:00発	16:15発	日合計	8:30発	9:30発	12:30発	15:00発	16:00発	8:00～ 16:00	9:00～ 17:00				
2018/11/16	曇	16.8	5.1	23	出発式	10	11	10	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	40	63
2018/11/17	晴	19.2	9.8	58	8	11	14	16	16	9	-	-	-	-	-	-	-	-	38	96
2018/11/18	晴	18.1	7.3	41	駅伝	14	11	12	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	30	71
2018/11/19	曇	15.9	6.2	38	9	6	10	9	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71
2018/11/20	晴	16.8	4.2	16	3	3	4	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	38	54
2018/11/21	晴	15.3	4.6	26	1	2	8	8	8	7	-	-	-	-	-	-	-	-	36	62
2018/11/22	曇	15.6	3.5	19	2	4	6	5	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	43	62
2018/11/23	祝	13.1	2.8	-	-	-	-	-	-	-	36	6	10	5	14	1	-	-	64	100
2018/11/24	晴	13.6	0.8	-	-	-	-	-	-	-	27	0	2	6	15	4	-	-	68	95
2018/11/25	晴	18.1	4.0	-	-	-	-	-	-	-	19	3	1	6	7	2	-	-	92	111
2018/11/26	曇	16.4	4.8	-	-	-	-	-	-	-	13	1	5	0	2	5	-	-	47	60
2018/11/27	晴	18.5	9.0	-	-	-	-	-	-	-	19	1	1	8	5	4	-	-	46	65
2018/11/28	曇	15.5	8.6	-	-	-	-	-	-	-	9	1	0	5	1	2	-	-	49	58
2018/11/29	晴	17.0	7.0	-	-	-	-	-	-	-	25	1	8	8	4	4	-	-	78	103
実証期間合計				221	23	40	64	63	31	148	13	27	38	48	22	33			669	1,071

※1:利用者数には視察を含む

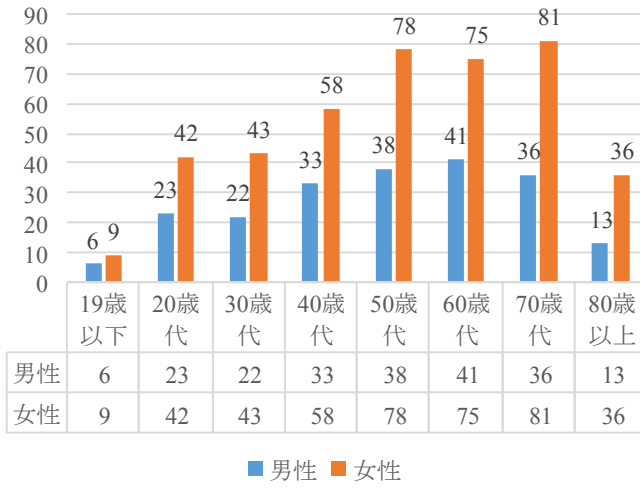
※2:運行内容の変更等

・11/16(金):出発式のため午前運休(1号車:1便・2便が運休)

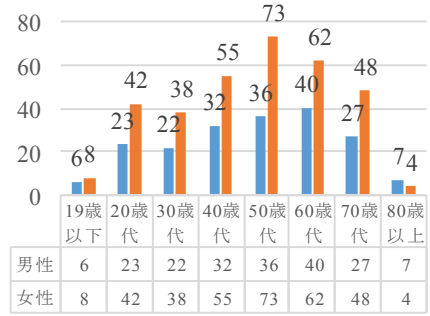
・11/18(日):鞆の浦駅伝のため1号車は午前運休(1・2便が運休、駅伝終了後に観光用にフリー乗降対応)

・11/29(木):1号車は利用者が少なかったため増便して運行(5便/日を7便/日で運行)

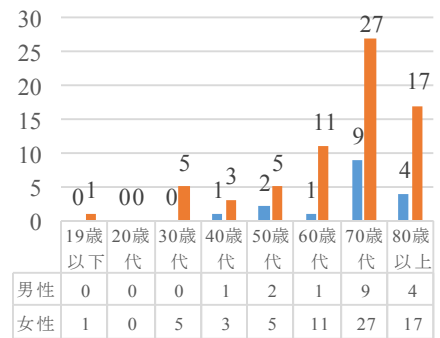
年齢別利用者数(全体)
(合計636人)



観光客
(合計523人)



鞆町
(合計88人)



走島町
(合計25人)

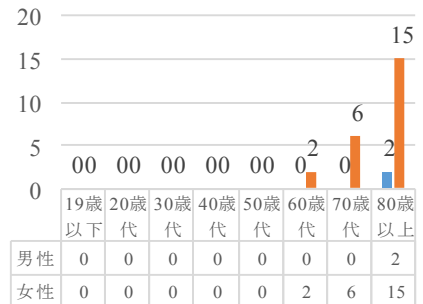


図 利用者の状況 (性別、年齢)

② 総走行距離・環境負荷軽減効果

期間中総走行距離は666台・kmであり、乗用車との比較によるグリーンスローモビリティ導入に伴うCO2削減効果は140kg-CO2であった。

表 総走行距離・環境負荷軽減効果

期間中総走行距離（回送は含まない）	666台・km
CO2削減効果（乗用車との比較）	140kg-CO2

【環境負荷軽減効果について】

- ・ 同じ距離の輸送を小型車量（ガソリン車）で代替した場合との比較によりCO2削減効果を計測。
- ・ グリーンスローモビリティ運行に伴う電力消費に関連するCO2排出量はゼロとして取扱う。
- ・ 小型車両のCO2排出原単位については平均旅行速度20km/hの小型に相当する210g-CO2/km・台として設定した（国土技術政策総合研究所資料 第671号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22年度版）」）。

2) 運営者側の声

狭い路地を通行でき、観光客や地元住民の移動手段として有効であることが確認された。また、当初は低速度のため渋滞や安全面を危惧した運転手が多かったが、狭い路地では20km/hという速度が必要十分なスピードであるという意見が多く寄せられた。

一方で、窓が無いことから冬場については防寒対策が必要である点、ワンマン運転時に運転手が雨カバーを上げ下げすることが難しい点、乗車定員が少ないため定期路線では積み残しが懸念される点など、車体の特性に関しては今後改善の余地があるという意見が寄せられている。

3) 利用者側の声

実証調査前の地域住民に対する聞き取りにおいては、車両のスピードが遅いことから、一般交通への影響が懸念されていたが、実証実験後のアンケート結果では全体的に高評価であり、速度に関するネガティブな意見は少なかった。しかし、「窓がないこと」への住民評価が低く、特に窓が無いことによる気温・雨・風などの影響に対しては低評価が集中した。

今後の本格導入に対しては、鞆町住民、観光客共に必要とされており、全体的に低評価である項目がほとんどないことから、本格導入に向けた検討が必要と思われる。しかし、走島町では悪天候（海岸付近での突風や波しぶき）への対応の観点から、不要の方が多かったことから、導入の必要性やルート設定等について再考が必要である。

《アンケート結果抜粋》

問：しおまち（潮待ち）モビリティに乗った感想について

全体的に高評価であり、ネガティブな意見は少ない。ただし、窓が無いことによる気温・雨・風の影響については改善の余地があるという意見が多く寄せられた。

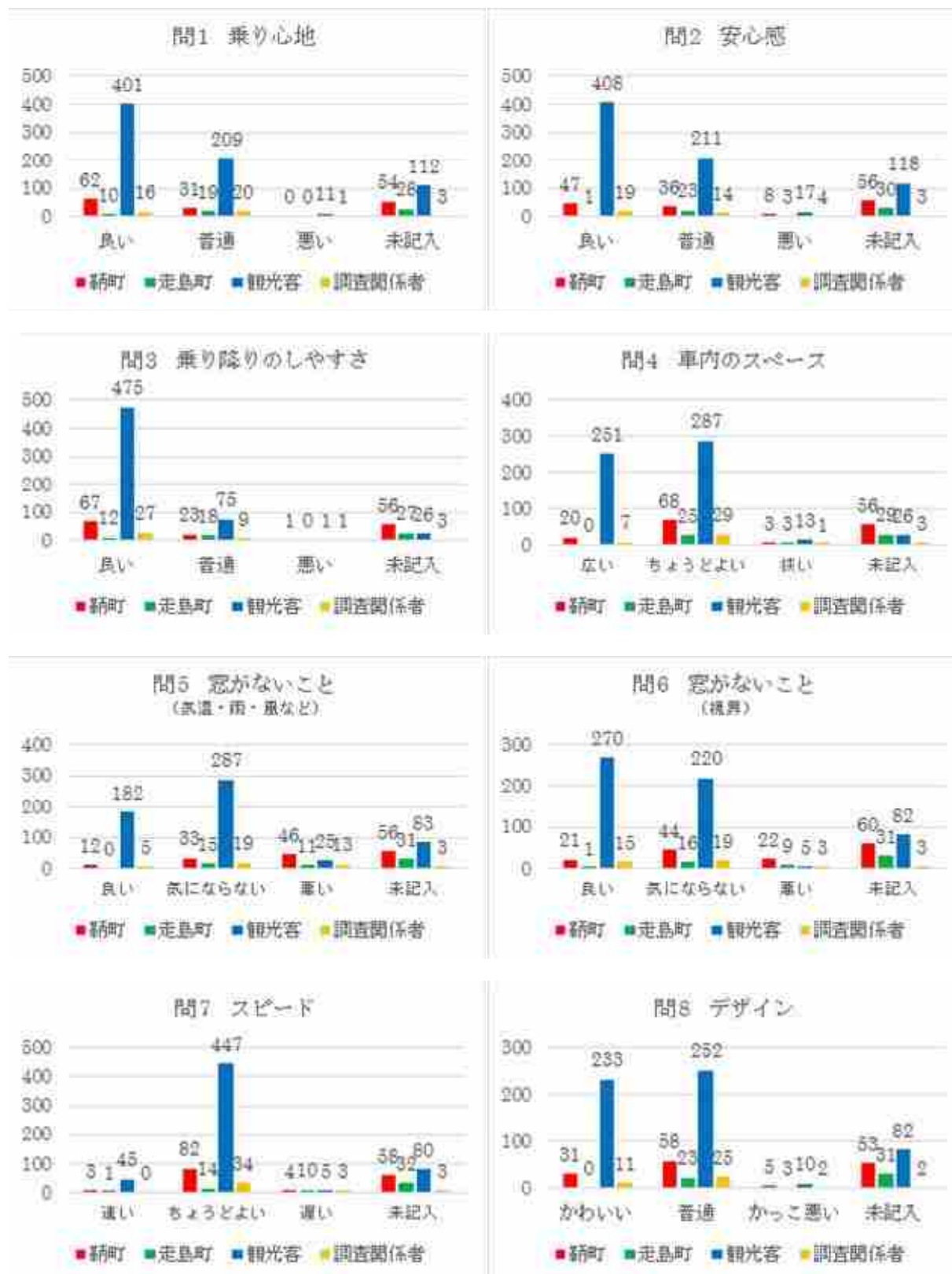


図 しおまち（潮待ち）モビリティに乗った感想

問：しおまち（潮待ち）モビリティの今後の本格運行の必要性について

今後の本格導入に対しては、鞆町住民、観光客共に必要とされており、全体的に低評価である項目がほとんどなかった。一方で走島については不要という意見が多い。



図 しおまち（潮待ち）モビリティの今後の本格運行の必要性